京城日報

本紙定價 壹ヶ月金七拾五錢 [illegible]
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 小川[illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 [illegible]

十月十四日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇聯軍三大襲撃

八日聯合軍は佛國戰線に於て三大襲撃を決行せり(一)は英米佛軍のカムブレー サンカンタン間二十哩の戰線に亘る攻撃(二)はグーロー將軍麾下の佛軍のルレーンス東北襲撃(三)は米佛軍のヴエルダン東方攻撃なり(巴里電報)

◇米大統領の回答に對し巴里にては斯く認めらる

獨逸の講和提案に對するウヰルソン大統領の回答は既明にして理論的なりと認められ居れり一般に此回答に據れば獨逸政府は進退谷まるの窮地に陷らざるを得ざるべしと信じられ英佛に於ける輿論はウヰルソン大統領は克く聯合國の意見を完全に表白せりと爲せり、正當なる平和の道程には何等の障碍あるを許さざれども獨逸は其奪ひたる總ての物を返還し其惡虐の犧牲者に報じ再び文明を破壞し得ざる地位に置かれざるべからず、ウヰルソン大統領の回答はホーヘンツオルレン家の將來に關する問題を適確に惹き起せり、ウヰルソン大統領は其聯合國と同じくカイゼル及び其共犯者と何等の交渉を爲すの意志を有せざるべし(巴里電報)

◇徐總統就任宣言要旨

徐世昌氏の大總統就任宣言の要旨に先づ南北統一を希望するの意を述べ立國の基礎として實業の振興金融の整理を先にし歐洲戰後に起る可き商業戰の準備を怠る可からざるを說き最後に風紀の頹廢道德の墮落を救ふに努め國家の元氣を培養するの途を講ぜざる可からず(北京特電)

◇長江三督軍通告

長江三督軍より九日中央の各方面に通報を以て「若し曹錕氏を副總統に選ばざれば獨立す」との通告來れり(北京特電)

◇觀兵式指揮官

三十一日天長節祝日觀兵式諸兵指揮官は軍事參議官仁田原重行大將に決定近々發表ある可しと(東京特電)

◇内野旅團長歸京

攻防演習參觀の爲め東上中なりし內野第四十旅團長は十三日夜釜山通過歸京したり(釜山特電)

◇特別大演習 御統裁 御日程

大元帥陛下には特別大演習御統裁の爲め十三日午前十時宮城御出門あらせられ午後宇都宮御著輦大本營に成らせられ十四日より十七日迄大演習御統裁十八日午前閲兵式午後大饗宴を行はせ給ひ十九日朝宇都宮御發輦午後東京に御還幸あらせらる、御豫定に洩れ承はる(東京特電)

◇外務重要會議

外務省にては十三日午前十時より內田外相、幣原次官以下局長課長等參集し館浦鹽より歸來の木村書記官も參加し重要會議を開けり(東京特電)

◎高師ヶ原演習所感

井口大將談

今回の高師ヶ原の攻防演習は文明のあらゆる武器と新案獨特の戰法を用ひ未曾有のものなりしとはいへ其規模さまでに大ならず所謂單なる戰型に過ぎず即ち何事にも先立つべき

▲資金の乏しきを如何せん若し是れを歐洲戰亂に鑑みたる大規模の演習となさんとすれば鐵道の設備隧道工事の施行などをも充分ならしめ彈丸の量をも大いに增加せしめざるべからず鐵條網のみにても尠くとも一萬貫の鐵は必要なるも資金に乏しき我陸軍當局の如何に苦心すとも叶ふべき事にあらず將士をして意のまゝ戰術を施さしむるに由もなく只單に

▲用兵の練習に過ぎずかくの如き軍事費の缺乏に對しては一般國民の軍事に對する用意に就いて遺憾の念なき能はず軍人としての我國民は優秀なれども國民として軍事に對する注意は尚一層深からんことを希望せざるを得ず我國民は我軍隊を以て最も強き軍隊と確信しつゝあれども事實は必ずしもさにあらず無論日淸、日露の兩役には大捷を博し靑島の要塞は一戰に陷れ西伯利の敵をも掃定せるは事實なれども

▲眞に世界の强國の全力を傾け來れる勢力に對抗せし事は嘗てなきに非ずや日露の役に一大强國として誇りたる露西亞を擊破せしとはいへ是決して露西亞の全力に對抗せしものにあらず見よ露西亞に對して彼の戰役の結果が如何の苦痛を與へしか成程南滿鐵道の或る部分のみは我手に歸せしと在りて露西亞本國と浦鹽斯德との連絡には聊かの苦痛をも感ぜしめず露西亞の本國には

▲我が一兵の足跡だも印せしめず而も彼の戰役に於る露軍は決して其の精銳にあらず僅に其の二流三流の兵をして第一線に立たしめしものなれば眞に我國の勝利として誇るに足らず彼を以て滿足しつゝあるものとせば我國民の不明悉かざるを得ず更に今少しく世界の大勢に鑑み軍國の爲めに其力を傾倒するところなかるべからず尤も此の國民の軍事思想の不完全につきては國民教育そのものにも缺點あるべし唯

▲今日世界の國際場裡に國家の面目を保たんとして戰陣に見ゆるに於ては勝敗は單に戰線にて決するに非ず寧ろ國民の一切の能率の統計を對比して決すると稱して可なるものなれば此の點に於て國民性の陶冶訓練は頗る重要なる意義を帶來らんとす今回の演習が軍事上の專門的見地よりして如何の結果を齎らせるかは之を他日に讓り余輩は今唯國民として軍事上の研究に向多額の所要あるを痛感せるを述ぶるのみ(東京支局)

騎兵監 鈴木中將談

今回歐洲戰爭から得たる戰術を應用して高師ヶ原に行はれたる攻防演習は實に未曾有の規模のものであつた即ち十月一日より六日迄一戸教育總監統監の下に豐橋

▲及び近衛の二個師團參加し各種の重輕砲、機關銃、飛行機其他手榴彈、毒瓦斯、照明彈等あらゆる最新式の武器を使用し戰術は歐洲の大戰に活用されつゝあるものより以上の斬新なる研究になりしものを用ひ即ち防禦軍は其陣地の構成及び戰術に於て歐洲戰術の精髓を拔きこれに對する攻擊軍の戰術はまた歐米各國のそれに鑑みて案出されたる

▲本邦獨特のものを以てしたのであるから其の戰闘の壯烈は規模の大なると相俟つて實に記錄を劃したものであつた此演習に畏くも大元帥陛下には此の演習中に侍從武官長を差遣せしめられ又東宮殿下には畏くも秋雨を冒させられつゝ而も將卒の劍戟相摩する間に親しく台覽遊ばしたのである其他久邇宮殿下及び

▲梨本宮殿下には師團長として臨場あらせられ閑院宮殿下北白川宮朝香宮殿下李王世子殿下等も平く隊伍の間爆彈炸裂の裡に在つて熟々御研學あり猶各師團長將師團長等の見學者は秋季大演習に於ても見る能はざる程多くの集合を見たのであるが此の大演習に於て熟々感じたのは

▲我が軍隊の堅忍不拔なる精神である夫は我軍隊の氣力を試さん爲めとてか降り續く秋雨は蕭々として戎衣を透して肌を刺す裡に連日連夜の苦闘而も敵味方共に相近迫せる間に於ての戰闘動作は其困苦艱難も啻ならぬものがあるのである然るに是等の困難に打ち勝つて猶敵を壓倒するの意氣旺盛なるを見ては

▲大に心を强うせしめたのである此の體力氣力の旺盛にして堅忍不拔の精神を養成するといふことは獨り軍人に必要なるのみではないので歐洲戰亂の生きたる教訓に鑑みても一般國民に於て大いにその必要あり各自性能を增進せしむる事は緊喫のことである(東京支局)

◎支那を理解せよ(下)

鐵道院參事 余井淸氏談

次には外國人の支那人に對する態度は如何といふ問題であるが、凡そ此の問題位重大なものは無からう。日本人たるものは今少しく此の點に意を注いで反省し顧みる所がなければならないと思ふ。而して支那人に接する今少しく用意の周到なものが無ければ

▲日支提携などといふことも、其れは言語文字上のことゝして終末を告ぐる位のもので決して其の實の擧ることは無からうと思はるゝ。英濠先づ第一に支那に入つたのは何國なりやといふに其れは佛國である。次には英國である。英國は世界に領土浴しといふ位であるから支那政策に對して拔け目が無い。彼の阿片戰爭を引き起してまでも英國は今日の勢力を有するに至つたのである。次には露西亞であるが、露西亞は鐵道其他に勢力を有するも經濟上に於ては皆無である。次には米國である。米國は求める所多くして與ふる所が多しといふ有樣であつて

▲米國が今日迄に支那に對して建設した病院は實に其の數百二十八、專門學校十三といふ數字を表すに至つてゐる。詰り米國は支那人の生活を向上させようといふことに努めてゐる。これは此の政策の深遠あるものなるを思はしむる點である。次には獨逸であるが獨逸は何れの國よりも遲れ馳せながら而も何れの國よりも更に進んだ地步を占めてゐる。其れは眞に支那人的の生活に入り得る素質を有してゐるといふ點であつて、即ち支那人を女房として、而して其の各事業に從事するものが多い。これ

▲支那人の生活に入りし此の點が亦恐るべき點なのであつて、故に日本人も此等獨逸人の如く支那人の生活の奧へ入らなければならないのである。其れから次には支那にて企業を爲すといふに於ては同國の事情に通せざるべからざるはいふまでも無きことであるが、殊に地方によつては貨幣制度度量衡の異なれるといふことゝ其他種々雜多な諸種の點に於て利害の衝突を惹き起すの物に不統一の點多きことを知らなければならない。其れから亦從來支那の事業に於て日本人が失敗したる點に於て、これを

▲征服して發展せんとするは間違ひで、寧ろ此れを扶助するといふ心持になつて相與に道を步むといふ態度にならなければならない。敵を壓迫するといふやうな態度を執らずして我が國是の進展を期せねばならぬ。終りに於て一言したきは支那が今日南北爭鬪を續けてゐるといふことに就いてであるが、是れ恐らくは茲五年や十年は現狀を續くるであらう。南北妥協などいふことは容易に行はるゝことでは無い是れ其の眞の根柢は支那人の性格に基けるものにして元來支那人が二人も三人も

▲妾を同居させて置くといふ風習があるが其の結果第一の妻の子と第二の妾の子とは絶えず喧嘩をするとか仲が惡いといふことになるは當然で、畢竟支那人の性格が今日陰謀、爭鬪、嫉妬等の弊風に富めるは實に斯の如く家庭組織社會組織に薫陶せられ子供の時より有してゐる所の缺點なのである(東京支局)

◆西伯利の經濟 物資は强ち缺乏せず

哈爾賓駐剳財務官今村次吉氏は此の程上京せるが西伯利の經濟事情に付き左の如く語る

▲邦人と經濟活動 邦人の西伯利に於ける經濟的活動は見るべきものなし礦山の調査其他各種資源調査の爲め入り込み居るもの少からざるも其狀態に基づき實際に投資して活動し居るもの又は爲さんとしたるものは極めて稀なり此頃哈爾賓に於て電氣事業統一電車敷設等を目論見居れるが如き其重なるものなり其他露貨取引を爲す目的にて百萬留の資本を投じ取引所を設立す可く日露支三國人にて計畫され居れるが多分近く設立を見る可し

▲軍票問題の裏面 例へば軍票は支障なく流通され居れるが是れが流通に就き露西亞人が露國の主權を害するものなりとて反對し居れるものあるが如きも斯は露西亞人の眞の主張にあらず其の裏面には某國人の煽動あるが如し露西亞に於ける留の流通せるものは五百萬億留にして是等少額の軍票が流通せりとて主權問題を持ち出す程の事は之なからん露西亞には少額の貨幣なき爲め却つて重寶がられ居れり

▲米國人の活動 米國の西伯利に於ける活動は經濟方面のみならず精神方面に及び基督靑年會など入込みて貧民救濟事業等に著手し居れるが日本も經濟援助の組織されあれば今後は具體的に活動さるゝ事ならんも物質は事實上缺乏し居らずブラゴエの如き過激派に荒されたる所は別としてチタ方面の如き物資潤澤にて經濟援助若しくは貧民救助の要なし實際西伯利に貧民ありや否や疑問なり行倒れが一千留の紙幣を懷中し居るなど、云ふ事も珍らしからず又實際生活に窮し居るは中產階級なるが之を救濟するとするも物資の供給に限られず日本軍隊が救助の目的にて供給せる物資が翌日市場に賣出され居たる例すらある事なれば西伯利を救援する事は物資の外なきが如く解するは誤れり他に幾多の方法あるべしと信ず(同上)

◎團匪賠償金 使途は教育產業

團匪賠償金免除の通告に關する北京消息通の語る所によれば寺內前內閣は支那の我邦に對し千九百二年より卅九箇年々賦を以て償還すべき彼の團匪事件賠償金の殘額を免除し以て

▲支那財政の窮乏を救ひ且つ日支兩國の親善に資せんことを企圖し支那政府に對し教育其他二三の產業獎勵費に充つべき使途を指示し其の贊否の意見を內偵せしに支那政府は其好意を謝し喜んで之に應ずる意思あるを確めたるより寺內前首相は其在職中既に外交調査會に諒承を提議して意見を徵する所ありたるに同會に於ても其の趣意に贊し宜しく議會の協贊を經て實行すべしと云ふに一決したるものと推すべき理由あれば右賠償金免除に關する議案は必ずや來る第四十一議會に現內閣より提出せらるゝに至るべく貴衆兩院に於いて多少の議論は免れざらんも叙上の如く既に前內閣々僚を初め原、犬養、平田、牧野氏等の各委員の諒解を得たる事實もあれば

▲結局兩院の協贊を經て實現すること疑ひなからん而して右賠償金の殘額は五千四百二十餘萬圓なるも之れが免除の時期及び使途の區分等細目に就ては勿論未だ支那政府と交渉を遂ぐべき機會に達し居らざれば確定とは云ひ難きも時期は我に於いて議會其の他の手續を終了したる上更に南北妥協成立後に於いてすべきこと及び使途は教育其他二三種の產業振興と云ふことに前內閣時代に決し居れりと(東京)

◎西五陵御參拜

李王殿下には十五日午前十時昌德宮御出門自動車にて高陽郡新道面なる西五陵御參拜午後二時御出發歸途德壽宮李太王殿下御訪問あり同五時退出御歸宮せらるべし

◎限外發行認可 二千萬圓

朝鮮銀行より總督府に申請中なりし同行銀行券限外二千萬圓發行の件は十二日附許可されたるが現に同行の發券は約八千三四百萬圓にして內五千萬圓を保證準備の發行により三千三四百萬圓を正貨準備發行となし居れるに付今後は限外の保證準備發行增加すべしと思はるゝが限外の發行には年六分の發行稅を納入せざるべからず旁內地コールの模樣如何により或は正貨準備の發行を縮くるを有利とする場合もあるべく當局の間にも今後の施措は未だ決定し居らず尙ほ今冬の朝鮮銀行券は鮮滿財界の膨脹物價の騰貴に基づく異動資金の增大並に西伯利出兵と鮮銀券流通範圍の擴大等あり一億圓臺を拔くべしと豫想され居れり

◎生牛相場低落

朝鮮に於ける生牛界は一時活況を呈しつゝありしが過般京阪中國筋の風水害に依り一般農家が不景氣を唱ふるに至り之が影響を受けて內地相場一頭に付十圓方の低落を示し隨つて朝鮮生牛も一頭に付十圓內外の低落を唱ふるに至れり

◎東洋畜產開業

新設せし東洋畜產興業會社は十一日南大門横に移轉開業したるが地方に於ける會社の所有牛管理事務は東拓出張所內の地方駐在員にて處理すべく本店にては先づ生牛の輸移出牛皮牛骨牛肉類の販賣等に著手すべしと尙ほ支配人佐治氏東拓支配人を兼ぬる事となりたり

◉朝郵決算案

朝鮮郵船會社の當期決算案を携へて東上中なりし川田同社文書課長は東京にて原田會長の承認を得て十三日夜歸京せしが同社にては十五日例の如く取締役會を開き決算案を附議する由なり

◎北鮮沿岸の漁況

最近淸津近海に於ける漁況は昨年に比し著しく不況にして每日市場水揚高の如き平均二百圓內外に過ぎず從つて漁價非常に高騰し昨年に比し約倍額の高値を唱へつゝあり而も雄基方面は大漁と云ふ程にあらざるも相當の成績を擧げ居れりと尙ほ以上の如く昨今同近海は不漁なるが十一日は珍らしくも鰤二百尾の漁獲あり多少の殷賑を呈せり因に昨今の漁價の主なるものを揭ぐれば鰤一尾二圓鯖同二十錢鱈魚一貫同一圓五十錢也と

◎木浦港出棉狀況

木浦龍塘鶴洞三共同販賣所の初回入札は鮮人金東の手に落札せるが其實際販賣狀況を聞くに木浦は初日即ち八日卅斤九日二百斤龍塘八日八百五十五斤九日三百五十五斤合計二日間にて千四百四十一斤の販賣あり出廻り至つて少く本月下旬に至らざれば盛況を呈せざるべしと尤も其品質は至つて良好にて何れも一等棉多數を占め居れりと

◎軍司令官張宴

軍司令官宇都宮太郎中將は十六日午後六時より官民有力者多數を官邸に招待し新任披露宴を開く由

◎兩副總支配人入京

鮮銀滿洲商總支配人阿部秀太郎氏は十四日朝入京又內地總支配人佐藤得四郎氏は同日夜入京の豫定なるが阿部氏は本店並に滯京中の大田總支配人との間に打合せを要すべき要件あり又佐藤氏は本店と諸種協調をなすためにて何れも二三日滯京の後歸任すべしと

◎松永長官歸任

高見技師を隨へ德源農場支場視察の爲め出張中なりし松永京畿道長官は十三日歸任せり

◎持地長官出發

遞信局長持地六三郎氏は豫報の如く十四日午前九時五十分南大門驛出發滿洲方面視察の途に就けり

◎大田理事歸任

夫人同伴金剛山觀察中なりし大田鮮銀理事は十四日夕刻歸京せり

◎鑛業登錄 (九月卅日附)

▲鑛業權設定
鐵鑛 慶尚北道慶州郡江西面 二十四萬三千四百七十四坪 金振瑢
金銀銅亞鉛鑛 平安南道中和郡天谷面 二十四萬九千九百八十六坪 古田貫一
金鑛 江原道平康郡平康面 六十七萬九千六百八十一坪 裵永徵

▲鑛業權移轉
忠淸南道靑陽郡赤谷面 任賀宰
平安北道熙川郡北面 岡崎增太郎
江原道杆城郡[illegible]面 金鳳鎬、崔致旋

▲鑛業權表示更正
金銀銅鉛亞鉛鑛 忠淸北道報恩郡懷南面 沃川郡安內面 鑛種名を金銀銅鉛亞鉛硫鐵と更正す

▲消滅鑛業權
全羅南道務安郡望雲面 平安北道寧邊郡八院面 同 廢業

◎連絡船事務長

十月九日附連絡船事務長の更迭左の通り發表されたり

新羅丸事務長 飯田利一 博愛丸事務長を命ず
壹岐丸事務長 寺見[illegible] 新羅丸事務長を命ず
對馬丸事務長 安元三郎 壹岐丸事務長を命ず
新羅丸事務員 三田淸男 對馬丸事務長を命ず

人事

▲今村武志氏(新任專賣課長) 往復七日間の豫定を以て朱安鹽田出張所に出張を命ぜらる
▲全州農學生徒一行 十三日午後職員生徒五十名木原より入京せり
▲小田省吾氏(總督府編輯課長) 往復二十二日間の豫定を以て教育狀況視察並に本府主催學事視察團引率の爲め滿洲靑島方面へ出張を命ぜらる
▲富田儀作氏(鎭南浦實業家) 十四日朝內地へ

茶前酒後

◆徐世昌氏の大總統就任式も、化々しく行はれ、先づ一と騷ぎは終りしも、未だ大問題として、殘存し居るは副總統選擧也。今の處直隸督軍曹錕氏が、一番呼聲高きが如し。曹錕氏が果して、副總統として適任なるや否やは、南方の御機嫌にも適するや否やは、未知數に屬す。◆彼は曾て主戰論者なりしも、其後遽に平和に豹變し、民意を寄せて平和を力說せるが如き、當時痛く世人の非難を釀せし歷史を有する人也。然れども斯る事を洗ひ晒せば、支那の時局は止め度なく、現狀を繰返すべく、大抵の所で舞臺を廻すべきは、內外共に希望する所也。倚て十六日の結果や否何。◆問題の人段總理は、愈辭職せり。然れども段氏の辭職を以て、勢力失墜と速斷するは、大なる早計なり。氏の既に行くべき處は決定し居れり、這入るべき室も揃へあり。注意すべく、興味あるは、段氏が捲土重來の方策也。段氏として必ず此儘に引つ込む者に非ず、否、麾下の政客が、決して此儘に段氏を置かざるべし、而して其時が又、暗澹たる政變の勃發する時也。◆獨り時外にありて、得意滿面なるは張作霖君也。徐世昌氏が北京に於て、大總統就任式の當日、彼は瀋陽北大營に於て、大閲兵式を擧行し、遂に北京の向ふを張れり。彼は事實に於て最早東三省王たり。蓋し彼の大成功と謂はざるべからず。彼の如才なき遣り口には、多くの愛嬌を有す。◆電報汽車よりも遲く、電話喚べ隔て談ずるに似たる今日、之が改良敏活を圖るは、萬事を差し措いても急務也。而して其改良敏活を圖らんとせば、實際に於て其業務の衝に當るべき、下級從業員の待遇に注意せざるべからず。即ち下級從業員の增給を以て、最も有効賢明なる方法なりとせざるを得ず。頃者野田新遞相が、仕事始めの初振舞として、年額四百萬圓を支出し、以て遞信の改良、敏活を計畫せるは、洵に結構千萬也。吾人は、朝鮮に於ても、斯あらん事を切望する者也。◆長春は既に、零下二度の寒氣襲來せりと報ぜらる。西伯利出征軍人の困苦思ふべき也。國民は[illegible]るにも、後援の大義務ある事を忘るゝ勿れ。

謹啓先代有造在世中は一方ならぬ御引立に預り厚く御禮申上候今般亡父の名義を襲ぎ一層誠實勉勵可仕候間何卒先代同樣の御引立を蒙り度奉懇願候右御披露旁々御願申上候
大正七年十月
朝鮮木浦府本町三丁目二番地
襲改め 福田有造
營業所 木浦府海岸通一ノ九

珍菓 金剛團子
朝鮮土產新菓賣出し
電話 二十七 四七五 番
京城本町 龜屋

發賣創立明治二十八年
各時計卸商
蓄音器
貴金屬製作卸所
TRADE MARK K
京城黃金町二丁目
喜多金光堂
電一〇一五・振替京城七八二

治淋 國產 新藥
GONOSALVIN
ゴノサルビン
優秀卓絶 價格低廉
白檀油代用藥
効果的確にして消化器障碍なく純內國產なれば價格從て低廉
發賣元 大阪市外中津町光立寺 三友製藥合名會社
特約店 大阪道修町 武田長兵衛
東京本町 小西新兵衛
文獻見本は三友製藥本社より進呈

平壤 京谷商店製
耐火煉瓦販賣
京城古市町
苫米地商店
電話九四一、三一〇八番
振替京城五三番

時刻表

[illegible]

大正七年七月一日改正現行

従軍寫眞畫報

従軍記者 金谷眞撮影

(一)大谷司令官の布告文を読む露人(ウリール驛にて)(二)我軍の占領せし黒龍鐵道クンゾール驛(三)アレキセーエフスクにて捕へられたる過激派の捕虜ブラゴエ驛に送られ來る

観菊御宴 □御取止め□

天皇皇后両陛下には例年十一月廿日赤坂離宮に行幸啓あらせられ各皇族、元老、大臣、内外臣僚文武百官を召して観菊の御宴を催させ給ふ御恒例なりしも時局を思召され本年の観菊御宴は御取止め遊ばさる、由拜承す(東京特電)

○大祭が近いた 賑やかに祝はふと
各町内が山車の競爭 光彩を添る甲冑行列
◇奮發する鮮人側の氏子

京城神社恒例大祭も愈一兩日の後に迫り神幸の順序等も本紙既報の通りであるが本年は趙重應子其他鮮人側有志の斡旋盡力によつて鮮人間に敬神の念が吹きされ居ること、て先般來内地人側と同数の氏子總代を擧げて經費其の他餘興に至るまで

◇**大奮發** の計畫だそうである。甲冑行列の中には社務所で新しく購めた十個の甲冑が加はる筈であるから一段の光彩を添ねるであらう。山車の方は各區競爭的に寄援で而も神事に因んだものを考案製作中であるが永樂町及び明治町の山車は既に發祭の許可を得て大膽は出來上つて居る。永樂町のは

◇**國姓爺** 合戰に因んだものにて大虎の身長が四尺高さ六尺布張子の幅が五尺、同じく乘馬の姿の和藤内は一間餘の張子の模擬紙衍を奉じ大虎を制し乍ら行くこと云ふ趣向、それに勇大鼓は五尺角の張子にて高さ六尺之を三十人にて舁つぎ其後から國姓爺の

◇**具足を** 着けた諸侯の假装行列が隨從すると云ふ大仕掛である。神社境内には前夜祭に舁される甲撰や博多二輪加等の餘興準備で多忙を極めて居る。

□兩皇子殿下 東宮御訪問

淳宮、高松宮兩皇子殿下には十三日午前九時三十分東宮御所に成らせられ東宮殿下と午餐を共にさせ給ひ午後一時東宮殿下御同列にて御参内あらせられたり(東京特電)

▽餘興は屆出よ 無斷は禁止される

それから餘興に關する警察の注意事項は既報の通りであるが例年往々にして例祭當日に至りて無斷に餘興を試みる者あれば今年は警察に屆出で許可を得ざる者は絶對に之を禁止さる筈であると

○日本畫の初入選
大川秀蕙女史と松原石洲氏

文展初入選者大川秀蕙女史(二三)は東京神田猿樂町大川篤眞氏の娘にて初め跡見女史に就き四年前より池上秀畝の門人となり昨年の文展に出品せしも落選せしより本年は一層努力しつゝありしに母の病死に落膽し一時は出品の念を斷ちしも秀畝師に勵まされ一曲一双の屛風に桐の花を描きて『冬近し』と題し出品したるなり又秋山銀江の作者松原石洲氏は昨年福岡縣工業學校圖案科を卒業後上京後初佐野石峰氏に就き本年五月より松林桂月氏の門に入れり同氏は今秋入選者中の最少年者なるべし(東京特電)

○跡始末が目的!
又も來鮮した小西の用務

この前朝鮮の米界に大波瀾を起させたのは背景が大きかつたから!!

農商務省の買附け米を鈴木商店の手先となつて八月朝鮮で十餘萬石を買ひ占め米界を騒がした大阪の米商小西辰次郎氏は二三の米商と共に來鮮した、

◇**その用向** に付鈴木支店の某氏は曰く『小西氏が來たのは先月の買附米をやつたそのアト始末のためであつて鮮米買附をさすべく寄越したのではない又小西氏が今回米を買つた所でそれは鈴木商店と何等關係はないと明言した、又小西氏を知れる京城の某有力者は『小西君がこの前朝鮮の米界に

◇**波瀾を** 起さしたのはつまり偉い後援者——鈴木商店と云ふ大きい背景があつたからである、彼れは米商としてヤリ手には違ない、然しその資力は知れてゐる、二萬か三萬がセイゼイ五萬とは買ひ得まい、又朝鮮も新米出廻り季に入つたのに二萬や

◇**二萬の米** を買はれて騒ぐやうでは見つともない、恐らく彼れは以前の買附米の跡始末と朝鮮米況の視察に來たのであらうと語つてゐる

○一萬の慰問袋
馬車十數臺に積んで愈發送

昨夜兼行その荷造りに忙殺されつゝありし愛國婦人會朝鮮本部の出征軍人慰問袋は十三日午後五時倭城臺の本部より馬車十數臺に積み搬出したが總數一萬袋これを百袋宛として百個の大箱に納め

▽**内八千は** 陸軍官房の指令に依り朝鮮司令部の手を經て出征陸軍に、殘り二千は舞鶴軍港部の指令に依り海軍に送る筈になるが尚目下荷造り中の物數千也と積まれこれも共筋の指令あり次第發送すべければ

▽**數日内に** は片着くべし右につき大森主幹は喜色満面へながら語る『皆さんの愛國心と熱誠とで斯く好成績を得た事を感謝して居ります價格は五十錢として定めてありましたが平均七八十錢にはなつて居り昨日發送した分丈でも確に一萬圓を越ゑて居る筈です。その中には

▽**李完用伯** などの朝鮮貴族や賤しい娼婦のもあります、この方が一段落ついたら今度は家族の慰問に全力を盡す考へで居ります、幹部の方々も我を忘れて奔走して下さいます』

○柔道五段の鮮銀副總裁泣く〳〵歸る
行員二百餘名の北漢山登り
白雲臺迄登つた者は極少數
片山理事は口が利けなくなつた

鮮銀の當納副總裁片山理事以下行員二百餘名は十三日の日曜日北漢山行きを舉行した、その趣旨は何しろ皆毎日ゴミ〳〵した忙しい行務に逐はれてゐるからと云ふので秋の閑な一日を山遊びに暮し連日の疲勞に弱つた頭を一新しようと云ふのにあつたらしい、當納副總裁、不破秘書役等を初め本店の連中司事書記小使給仕に至るまで三々伍々午前の八時頃何れも出發北門を經て北漢山まで歩き片山理事吉田局長飯泉秘書役長井上營業課長こいふ

▽**乘馬黨の** 連中は午前八時半頃より馬上ゆたかに行員の後を追つたさうな、その中の片山理事の如きは馬上山道の左右に見る紅葉の景色は又格別だねと云つてゐるが、理事は此頃馬に乘初めたのであるから景福宮の横を拔けて段々山道にかゝると、初めの間は鞍庭が落ちか、り他の乘馬先生には餘程危かつたと見ゑたらしく一時の腰附などは全くなかつたさうだが、慣れるに從ひ時には右や左の景色を賞し得る程になつたとの事である、乘馬連が

▽**北漢山麓** の北漢寺派遣所に著くと相前後し副總裁や各課長連も漸く辿りついたが何れも非常の疲れ方中には落伍したらも少くなかつたらしい、勞働派遣所から白雲臺に上りつめた勇士は餘り多くなかつたさうで、先づ此處まで來れば遠足も十分だとあり多數は元來た道に痛い程コリバッタ踵を返し元氣の好いのを誘ふ吉田局長飯泉秘書役等馬は別富に見いてかへらせ城壁を巡つて歸つて來たと云ふことで其の中に

▽**疲れ頭こ** 見ゑたのは柔道五段を以て日本の斯界にも聞ゑた當納副總裁、柔道の有段者と云へば大抵石のやうに身體は固まつてゐるさうに思へる、殊に五段と云へば素晴らしいものだが、その五段の副總裁の疲れ方は全く酷しかつた、歸る途々少し坂になると行員が『ヨイショ〳〵』とその腰を押し上げ殆んど持ち上げんばかりにして見榮も外聞もなく泣く〳〵北門まで辿りつきそこに待たした俥にのつて永樂町御殿に歸つた、同じく片山理事は何れかと云へば話好きの方だが、コレも全く疲れ切り殆ど口が利けなくなり

▽**喘ぎ〳〵** 北門で車に乘つた、不破秘書役は何の少々の山登り位はと初めの勢ひは可なりなものだつたさうで往く道で既に二合ばかりを平げたのでコレ又ヘトノ〳〵の弱り方だつたとの事、それにしても副總裁は餘りに自分の弱り方が酷かつたので幾らか氣はづかしかつたものらしく『ごうも十年以來かうした山道を歩かぬのでバカに疲れて終つたなに別に疲れた理由の説明をする譯でないがね——』と傍人に語つてゐたさうな、尚ほ横山庶務局長と島雄庶務課長は不參とあつて元氣旺の行員から

▽**弱音呼り** をされてゐるけれど、横山氏は風邪のため島雄氏は水原に餘儀ない用があつたための不參だ相な、横山氏はそれでも不參が氣に濟まなかつたらしく病を押して南山に登り全員の北漢山行に對抗したがそれでも非常にへこたれて歸つたよと話してゐた

○羅病者は二十八名
中四名は重症
京中滿洲旅行團

西脇教諭引率の京城中學校生徒七十餘名中二十八名は流行性感冒に罹り中四名は重症にて奉天及び大連の滿鐵病院に入院し其他は大連吉野町大阪旅館にて健康生徒と隔離の上治療中なり從つて大連出發期は未定なり(大連特電)

○先妻後妻を斬る
釜山西町の刄傷詳報
原因は嫉妬=被害者は重傷
加害者は殺して了ふ心算だつた

十三日午前九時過ぎ原籍京都府愛宕郡田中村大字田中三十三番地當時釜山府西町四丁目水產會社雇員樋口芳三(三〇)方にて先妻樋口さじ(三〇)が後妻たる佐賀縣東松浦郡唐津本町楠田德松二女きち(二〇)を殺害せんとしたる事は既報の如くなるが其の詳細を聞くに加害者さじは大正三年十二月芳三と結婚し翌年一女を擧げたるが昨年十一月

▲**又々娠姙** となり分娩の爲め鄕里へ歸り居る内芳三は水產會社支配人入江某方の女中たるきちと關係し一方鄕里さじは夫より暫らく滯在すべしとの書面来たるを機として離縁話を持ち出したりさじは本年一月一日來釜したるも何となく面白からぬ爲め再び歸郷し愈々芳三の容れ通り別れる事とし手紙にて掛合ふ中芳三は百五十圓の

▲**手切金を** 出した上二女を引取る事となりし爲め相談纏り本年五月きちは又々出金したり其の際芳三は五十圓を渡し殘金は離籍後に渡す事として一應さじを離郷せしめたるがさじは芳三に子供を引渡す爲め其後又復來釜し某下宿屋に奉公中芳三は勤務演習に召集され羅南に赴きたるを以て被害者きちは長女を資水町の自宅に引取りさじは芳三留守宅に起居し居る内本月十一日芳三は

▲**演習より** 歸りたりされど自宅にさじが居るを知りたるを以てきち宅へ行き兇行の前夜十二日隣家の野阪某に百圓を渡したるが一方さじは手は切る事になりたるも男を寝取られたる無念遣瀬なく出刄庖丁を研ぎ濟まして待ち受け居る中十三日の午前九時過ぎきちが男の襦袢を取りに戻り室を開けて出んとしたるよりさじは堪まり兼ねて隱し持ちたる

▲**出刄を振** り翳して右頸部に切り付けきちが血塗れとなりて逃げるを追ひかけ更に背後より一太刀切り付けたれ斯てきちが悲鳴を揚げながら附近の京城日報新聞支局長吉田記者宅へ逃げ込むやさじりも續いて飛込み來りしより吉田氏は驚きながらもさじりが持てる刄物を捥ぎ取り早速野々上刑事に引渡すと共に一方被害者きちを朱雀病院へ入院せしめたりきちは却々の重傷なれども生命には別條なきもの、如く尚さじりは本署へ同行取調べ中なるが殺して終ふ考へなりしと聚神の有樣にて語り居たり(釜山)

○對馬丸復航

山陰線水害の爲め不通となり境舞鶴間は關釜連絡船對馬丸を以て連絡を執りつゝありしが該線の被害は豫想外甚大にして復舊工事は少くとも本年一杯を要す可き模樣なるを以て從來關釜間貨物專用連絡船として改造し客船として對馬丸と交代せしめ同區間の連絡に充當する筈にて十四日御嶽丸は下關を出發せるを以て對馬丸は多分十七日頃より關釜間に復航すべしと云ふ(釜山)

◇花月の長唄止釋會(十三日朝刊參照)

□米食專門=を廢せ
そして豊富なる西伯利產の麥を補助食料とせよ

最近西伯利から歸つた木下中管局長は西伯利と日本の經濟的提携こいふ見地からしてもごうしても日本人は將來米食專門を廢して米の補助食料こして麥=麥粉=パン=うごん=即ち麥により生產食料を用ゐなければならぬこて其意見を述て曰く『西伯利の富源は殆ご無限である自分は今回のみでなく

▲**今日迄に** 兩三度同地を見聞してゐるが若し熟練せる技師、勞働者、豐な資本家が我國から行つて開拓に從事したならば其得る處は想像以上であらうと思ふ昨今の西伯利が食糧の大缺乏に瀕して居るこいふのはそれは例の過激派が共產主義などを高唱して他人のものは己のものと云つた工合に麥など自家用以上に有つてゐるものはドシ〳〵奪つて行かれるそれでは

▲**馬鹿々々** しいと云ふわけで大農家は申し合せた如くホンのボッチリ宛しか作らなかつた結果で而もそれであるにも拘らず此頃では一帶の秩序が稍恢復しかけたので大分隱されて居た麥が出始めて居るこいふ狀態であるから今後農民が其堵に安んじ全能率を擧けて農作に從事する一方日本から發達した

▲**耕作法を** 提げて行つたならば麥の產額は驚くべき巨額に達し隨つて價格は非常の低廉を告げやうと思はれる此時に當つて日本は西伯利から各種の原料を輸入し之に加工して再び西伯利に持込むと同時に米食專門を廢止して一日に一回位はパン食を執るこか饂飩を食るこかすれば一面に於て

▲**供給不足** の內地米を補ふ事が出來他面西伯利こいふもの密接な經濟關係を結ぶ事が出來一擧兩得ではあるまいかと信ぜられるのである(東京)

○本町筋で自轉車を飛ばすこ
今後は處罰される

本町筋は人馬の往來頻繁なる上に道路狹隘なるにより自轉車を以て疾走するは危險甚だしきに依り本町警察署は之れが疾走を禁じたり依つて本町筋に於て自轉車を用ふる者は必ず除行すべく違反者は處罰さるべしと

○女の犯罪が增加する
◇兩監獄の在監人

九月末日現在當局の調査に據り京城及び西大門の兩監獄に於ける在監人がどれ位あるかを調べて見るとざつと次の通りになる在監人の內には受刑者もあれば刑事被告人もあり又勞役場留置者と云ふ樣なものもあるが之等の種別に從ひ內鮮支那人の區別を立て、其の數を擧げて見ると先づ

▼**京城監獄** には朝鮮人の受刑者が一千六百十九人這入つて居るばかりで他に刑事被告人とか留置者とかは一人も居ないそして此の計數を前月に比較して見ると三十三名の減少を示してゐると云ふのである次に西大門の監獄に就いて見ると內地人受刑者の男が一七名女が十三名、朝鮮人の男が一千五百二十三人女が百十六人、支那人の男が二十名女が一名合計男の受刑者が一千五百五十八人

▼**女の受刑** 者が百三十名と云ふ數に達してゐる次に刑事被告人は内地人の男が二十七名女が二名朝鮮人の男が二百六名女が十四名、支那人の男が一名で刑事被告人の合計が男二百卅四名女十六名になる勞役場に留置されてゐるものは朝鮮人の男が一人ある許りだそれで今西大門監獄に在る受刑人刑事被告人及び勞役場留置者を合計して見ると男一千七百八十四人、女百四十六人を示めして居る

▼**之を前月** に對照して其增減の狀況を見ると內地人男が十三名減少し朝鮮人の男が四十二名減少し支那人の男が一名減少合計男の在監人は五十六名減少して居るにも拘らず女の在監人は内地人が一人朝鮮人が五人都合六人の增加を示してゐると云ふ事である概して昨今の傾向こして在監人即ち犯罪者と云ふものが男には減少しつゝあるにも拘らず女の犯罪者が增加しかけてゐると言はうか

▼**毫も減少** しないと言はうか惡角男に比して甚だ宜ろしくない傾向を示しつゝある殊に內地人に於て此の傾向の甚だしいのは大いに寒心すべき事である

○善隣旅行團歸校

本月六日より南滿洲地方へ修學旅行中の善隣商業學校職員二名生徒二十八名は無事豫定の旅行を終へ十四日午後七時二十分南大門驛著にて歸校

◇奉天近事◇

走ありしこは[illegible]……のたるなれば其間幾多の[illegible]……不快よしこせざるもののあるは発[illegible]

仁川期米 [illegible]

興味多き福引景品進呈——拾月廿五日迄擧行:

天賞堂秋季大賣出し

大阪市南區心齋橋 天賞堂大阪支店 電話船場 長一七四 三三三一

寫眞 官衙出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版 熟練せる技術と懇切な旨とを以て最も迅速に御需に應ず 京日寫眞製版部

千圓もあがる 畑一段歩

藥草栽培

◇庭の片隅からでも ◇大金が儲かる

目下日本政府が獎勵金を下附して盛んに獎勵してゐる各種藥草の栽培は地方郡村の福音である。藥草栽培は骨が折れずに業みが多く然も多大の收入あり中には畑一反歩から一收獲に千圓近くの收益を上げてゐるものもあるそれだから一坪の土地でも利用すればよき副業内職となる。殊に人に先んじて之を栽培し種苗を取て賣れば大金が儲かる。又野原に繁茂せる野外藥草でも之を採取して販賣すれば無資本で一ヶ月五十圓内外の利益を得る事も出來る。其の栽培法、採取法、販賣法等は東京神田表神保町日本藥草研究會發行の説明錄を見るが一番よい同會の會員には質問隨意、藥草共同販賣等の特典もある會則及び説明錄見本は同會宛ハガキにて申込次第進呈する(至急を要す)

難病家庭療法

一大珍書無料進呈

醫藥の惡縛に煩悶し中産以下の患者各病床に煩悶する同等の悲慘を我社は右救濟の爲め左の新案を提供す(一)如何なる難病にても其病狀を詳報せば權威なる專門大醫の診斷を徴し高價の醫藥を避け安價にして而も奏効卓絶の家庭新藥を選拔し冗費を省き安心自宅治療し得る家庭新療法を最も親切に内報す(二)警察衛生上諸般の御相談に應ず(三)依頼者は要項詳記の上郵券返信料一件壹圓相添至急御申込あれ(四)申込順百名限本社發行『通俗ラヂウム實驗談』(定價金一圓特價七十錢)『博士温泉療法』(七十錢)の二大珍書無料進呈(送料三十錢)

東京大久保百人町 東京衛生通信社

職業 頗る美術にして易く習得出來時間年中無休にて有利有望なり 必勝地方何處でも老幼男女共就業容易普通有ふれたる内職に非ず熟練日收多大詳細郵券四錢を要す(特約店募集)
東京市本所郵便本局前 形梅商店

人力車 ゴム車輪 ◆ハブ・スポーク
車輪原料一式製作工場 大阪市西區阿波堀裏町四十三番屋敷
小山十四太郎 電話新町九四二番

天 洋鐵 鋼板 洋釘 亞鉛 浪平板 線 鐵 カ 板 鋼 眞鍮 板 線 地金 類
京城南大門通 五丁目 又田商店 支店

漬物問屋 大阪市南區新我衛筋電車通 商號 全森内商店 電話南三〇三七振替大阪三二四〇三

三好式搾水機 最新發明液体搾機械 製造發賣元 說明書郵便券貳錢 化學製藥搾油製毛紡紙染其他色々工業者間ニ賞使サレツヽアリ 大阪東區谷町四丁目 三好信造

▲漬油 ▲雨合羽 ▲店繪 ▲防寒部分品 ▲卸小賣 營業案内進呈 御用ノ方ハ御一報次第參上

ミシン裏賣 京城鍾路二ノ二七電話二三三八番 楠商店

御旅館 朝日館 平壤幸町通り 停車場前 電話一三六番

賛化病院 京城明治町一丁目 電話二四番 内科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り無料施療す 醫學博士 古城憲治

◎政局の變移と鮮滿
大體に於て變動なからん

政局の變移と其の滿洲に波及する影響に就き某有力者は語つて曰く中央政界の變改と共に滿洲官廳及び滿鐵會社にも相當影響ある者と一般に觀測せらるゝ處なるが予の觀測する處に由れば大隈內閣より寺內內閣に移りたる時程に滿洲は其の影響を受る事なかるべし寺內伯は他の事は別とし

鮮滿統治に就て

◇我國政治家中其の比を◇見ざる實驗と見識を有し且つ滿蒙經營の先覺者たる後藤男を其の內相として成立したるを以て此の方面に大なる刷新を計畫すべき事は蓋し當然の事なり然れども其の實績に至りては亦大なる變革を齎すに至らず其主なるものを擧ぐれば滿鮮兩鐵道の統合經營、滿鐵會社の職制改革等にして更に滿洲開發に向つて新地步を開かんと計畫したるもの、如くなりしが

內外の事情は俄

◇に寺內伯の抱懷し居る◇植民政策の實行に適せざるものあり茲に於いて經濟的勢圈を企畫し朝鮮銀行並に東洋拓殖會社の大々的進展を遂行し之等の方面に於て其の豫定の成績を收めつゝあり此の圓滿なる經濟的滿蒙進展政策は新內閣と雖も

反對する理由無

◇を以て其の計畫は着々◇繼承實施せらるゝに至るべし關東都督府及び滿蒙會社に及ぼす影響と稱するも要するに其の人物問題にして政策に關しては俄に革新する事能はざるべし都督府にては中村現都督寺內伯との關係特に密なるものあり其の都督就任と共に滿鐵を統裁し

都督こして前例

◇なき權限を擴張せし◇も中村都督の謹厚實直なる極めて適任として上下の信任厚く且つ北滿出兵と共に其の樞機に參畫し近くガイダ將軍の總司令官を否認せること及び其他北滿外交事務に關して亦機宜の處置に出で關東都督として相當の實績を擧げ居ると共に是は元來政界に關係無き軍人の事とて俄に

其位置に動搖を

來す如き事無からん宮尾民政長官の東上に就ても道途言を爲すものあれど宮尾氏亦臺灣より滿洲に轉じ中央政界とは殆ど相絕ちたる形にて其の後藤系たるが故にして殆ど政黨とは絕緣の形となり全くの會社員、給料取り生活を續け互に相忘れたる趣きなるを以て善き意味に於ても惡き意味に於ても

變りなきものと

◇見て差間へなからん◇要うるに滿鐵幹部の改造は人物本位として自然に淘汰改造せらるゝ時あるべく之は中央の政變とは相關せずして行はるゝ事の日に行はるべし之れを要するに我滿鮮兩地は重要なる帝國の新版圖にして其疆域には幾多特別なる事情ありて

內地と同一視す

◇可らざる政治的意味◇あり內地の政變を一々感受し其主要部の變替を見る如きは吾人國家の爲甚だ取らざる處也（大連）

……こして動かす京城間に初めて決定を見たる如き難產裡に……曾氏掌裡に歸すこ……の活動は世人注視の標的たる向後は刮目に値すべし

ある事こ察せらる

列車に宿營する爲 貨車が幾らあつても
不足するのは當り前なり

目下ホルワット將軍を初めこしチエックにせよ英佛軍にせよ客車貨車を宿舍こし目的地に達せしまゝ歸り來らず普通輸送に使用し能はざる東鐵の車數は實に一千臺に上る計算のみにても三百五十臺あることに傳へらる之れ東支鐵道輸送力減少の主因なり然るに米國より到着せし儘にて未だ組立てを終らざる貨車中には五百車機關車は哈爾賓に八十二車あり急に其組立て作業を進捗せしめつゝあるも何分哈爾賓の工場は一日一臺の機關車を組立て得るに過ぎず心細き次第也（哈爾賓）

◎問題の東淸鐵道
奧地から歸つて來た人の直話

此間のストライキ 怠け者の處分から

◇要求を容れて初めて解決◇滿洲東淸鐵道同盟罷業に關し主たる原因は從來月給制度にて怠け者多く事業の進展上面白からざるを以て月給制度を廢し事業の多寡に應じて給金を與ふる事とし勤勉ならば從來より遙か多くの賃收入ある樣にと改正せし事が彼等の反感を招き實際收入は增加せずとも怠けながら一定の月給を貰ひ得る方優れりとし俸給制の復舊を迫りたる事其一にして他の一因は從來の幾多に分れ居りし委員會を打つて一丸とせし委員大會を認めしめ其前要求は鐵道廳の容るゝ所となりしも後者は解決を他日に留保せられたり

全財產を擔保とし 借欵を起さんとす

◇成立間際には競爭も起らん◇東支鐵道の經濟逼迫し居る事は略外部より想像せらるゝされば目下同鐵道の財產を調查し借欵に應ぜんとしつゝある某國あり聞くが如くんば哈爾賓の工場のみにても裕に一千萬圓の價值ありとの事なるもいざ借欵成立といふ際には必ず他の列國との間に競爭の起るは免れざるべきか因に我皇軍の輸送賃金支拂は普通該鐵道の軍隊輸送が三等賃金の半額なるを常とせるも皇軍に限り四等賃金の全額拂こし較や鐵道の爲め有利なる條件とし遲り支拂は無論後拂にして露亞銀行に對し豫め幾百萬圓かを預入し

◎鑛石禁輸說に就て
若し實現せば由々しき大事なり

鐵類需用の激增は如何なる雜鐵鑛と雖も開採せねば已まぬと云ふ趨勢を示して來た然るに支那政府は最近復鐵礦暫行辦法を復活し鐵石對外賣出防止を爲すべく已に各省に向つて移牒した東三省の如きも同令の發布と共に各鐵礦は皆官行となし只外人の絕對關係して居ない許可出願者に限り許可を與へる事になつた而も北京政府の意嚮としては採掘せる鑛石を外人に販賣する事をも禁ずるらしい之れ我國獨立策に對し偉大なる打擊を與ふるものである是れ取りも直さず日支經濟の提携に對する眞意に違反する譯である今我國銑鐵の需要高を聞くに約八十五萬噸であるも各製鐵所を通じて其の生產能力は殆んど半數に足らない現狀であると云ふ且つ支那に於ける日本製鐵所即ち淡陽及び本溪湖煤鐵等も出廻り薄にて供給不足は免れぬ從つて市價現物四百五十圓と云ふ高價である而も日本諸製鐵所は釜石等小數を除くの外多くは支那產出鑛を使用して居る今日の場合では他國より輸入の道なく殆ど窮乏の極と云はねばならぬ且つ砂鐵利用法も未成功であれば萬一支那の鑛山閉鎖にして復活せば朝鮮並に滿洲山東省方面等に研究調查を進むる合辦事業を絕對に排斥して居る今日新に新會社を設立することふ事は甚だ望み難い次第である右の次第であれば我旣成會社の事業も鐵工業制限の結果亦覺束ない難局に陷りはしないだらうか合辦法は日本の爲め大打擊であるのみならず支那自國から見るも甚だ不生產的政策と云はなければならぬ支那が如何に資本及び技術等外部より輸入して仕共に產業の發達を計らなければ其の成功を見る事不可能である今日に於て其の富源開發阻止政策を採るは甚だ誤つた政策と云はねばならぬ（奉天）

◎米國の極東情報局
奉天に設くべしとの風說

北京駐剳米國公使は夫人同伴にて滿蒙及び朝鮮各地を跋涉し先頃歸任したるが喇嘛僧五名を秘密にて同伴し來り奉天の某所に留まり置けりといへるが此程同公使は奉天に來り何事か右の喇嘛僧と密議を凝らせりと傳ふ右に就いて或者は米國が奉天に極東情報局を設けんとするの準備に非ずやとの噂高く其場合は滿蒙滿洲を經て浦鹽に向ひたる米國情報局長が該事務の最高權を握るならんとの說盛ん也（奉天）

慶北共進會彙報
會場の案內（續）
松井共進會庶務主任談

◆苗木陳列　慶尙北道に於ける各種一般樹苗は其の生產莫大にして造林栽桑業の發達に伴ない益助長發達を促すべく最も緊要なる事なるが是茲に育苗家より出陳せる苗木は悉く栽庭の南十數間にして裸地に陳列すべき豫定にして其點約四百五十點を算す

◆特設館（其二）　苗木陳列に東隣して本年內棉作組合の合同經營に係る棉花館は洋式三層樓、高さ四十二尺を有し會場內に一光彩を添ふるべきを信ず、本館は本月廿日前には竣工すべき見込みにして館內には朝鮮に於ける棉花の各種並に內地朝鮮に於ける棉花に關する總ての物を網羅すべき豫定にして其數約一千點に達すべし、棉花館に對し京城熊谷商會の『ポンプ』出陳特設館並に京城織紐會社に於ける力織機製機、『シンガーミシン』會社に於ける『ミシン』陳等に關する特設館は何れも多數觀覽者の注目を喚起するや必せり

◆蔬菜館　面積三十坪にして本館內一般蔬菜出品約一千點を陳列せるものにして觀覽人の注目すべき優秀なる出品物の存するを疑はず

◆現業館　本館は專ら製紙機業に係り機業は大邱南旨恒業を紙にありては慶州森守衞の施設に關し其改良を要すべき事項に付偽すものにして其面積大ならずと雖も農に於る副業としては將來大いに發達せしむべき事業として特に觀覽人の注目の要ある者とす

◆接待所（其二）　水產館に接し二層所京城津村人蔘商會の人蔘湯接待所設備せらるべき筈にして同商店は夙に人蔘商として鮮には福岡北海道等の展覽會に接待所を設備して盛擧を賀せるもの

◆第三號館　本館は官內學校產業生產品及び衞生關係品並に金融組合等に於ける金融關係品を出陳するものにして以て管內各學校に於ける實業教育の一斑を窺はむとするものにして衞生關係は慈惠醫院、警務部等より衞生上特に注意すべき各般の參考資料を出品し以て一般の衞生思想上に發達を促進せむとするものにして觀覽人をして裨益せしむる點甚大と信ず、金融關係出品又農村に於ける金融機關たる金融組合の利用特點等に付一層の徹底を圖ると共に金融組合等に於ける事業成績を示さむとす

◆恩賜授產館　日韓併合の折賜はりたる臨時恩賜金に依り併合後產業の發展の爲め施設經營せる事業の概要を示し以て一般觀覽人に對し皇恩の弘大無疆なるを一層示すと共に其成績の概要を寛知せしめむ爲め施設しあるものにして館小なりと雖も觀覽人自から襟を正すべきを信ず

◆大邱協贊會接待所　大邱協贊會は觀覽接待の爲め會場內に接待所を設け以て一般觀覽人の利便を圖るものなるが其の接待所に充つべき一建物は朝鮮古代の二層樓閣にして閣上に上れば大邱市街を望み得べく大邱東部方面に於ける工場亦一眸に收め遠く飛行機翔揚場を展望し眺望最も良好なる樓閣なり名づけて嶺南閣と稱す工事は殆んど完成せり

◆救護所　觀覽者の會場內に於ける疾病卒疾の變に備へむ爲め救護所を設備し醫師並に看護婦の出張を受け萬遺漏なきを期す

◆エツキス光線　出品東京日本製煉株式會社より高周波放電エツキス線併用河喜多式ネオヂアテルミーを出品し之が實驗說明を加ふべく出品申込を爲したるを以て直ちに本會は之れが出品を許可し會期中之れが實驗を爲すことゝせるが定めし觀覽者を留むること尠からざるべし

◆新聞閱覽所及休憩所　鈴木商店大邱精米工場及び朝鮮民報社に依り一般觀覽者の爲めに休憩並に各地の新聞閱覽を爲さしむべく設備し旣に起工せるを以て不日落成すべく觀覽人の爲めに與ふる利便甚大なりと信ず

◆無料休憩所　一般觀覽人の爲めに無料休憩所を大邱協贊會に於て設備し觀覽閑暇等の喫飯並に休憩の便を與ふべく計畫し不日工事に著手するを以て開會觀覽其他一般觀覽人を利する所大なりとす

◆自働電話　大邱郵便局に於いては場內適當なる所に自働電話を設備し一般觀覽人の希望に應じ使用せしむべく計畫にして不日設備完成の筈なり

◆賣店　大邱協贊會施設として場內に本會に出品物中即賣を希望する者の對し出品物と同一なるものの即賣を爲すべく即賣館二棟を建設し恰も勸商場に於けるが如き觀を呈し旣に即賣館使用申し込み面積は即賣館の面積を充たすの盛況なり左れば開會と同時に即賣館の殷盛共進會に又一段の光彩を添ふべし、飲食店の如きも場內に亂設を防ぎ保健衞生に支障なき物を選ぶに留意せるを以て場內の秩序は維持し得らるべきを信ず、郡島に於る特產品又郡島協贊會に於て即賣所を設置し以て郡島に於る特產品を此機會に於て紹介し以て普く販路の安定擴張を行はむとす

◎百十餘町步の新耕地を造る
◆東拓移民の移住計畫◆

平南江西郡申津面一部の百十餘町步に亙れる畑地に對し灌漑方法を用ふるときは穀物に對する收穫額著しく增加すべく此の灌漑用池として江西邑後方舞鶴山溪谷の一小部面積約十七町步の地點を貯水池とせば適當ならんとて同地の者發起となり旣に平安南道より補助金九千圓を得て昨年春頃より該貯水池堰止の工事並に灌漑用水路工事に着手し現時に於ては旣に八九分通り竣工し多分來春に於ては灌漑用に供すべきが此貯水池は附近溪谷より集まる溪水を溜蓄し夏期に於て適當に給水する方法なるが非常に冬來著しく騰貴せし諸物價に伴ない一般工事費も豫算の一萬二千圓を超過し二萬圓を算し居れるが右は道補助の外は主として賦役を以て前記水利を受くべき百十餘町步中約三十餘町步は東拓の所有地に屬せり之が爲め目下吉縉（龍岡）溫泉より約二里に在る東拓移民は該灌漑工事の竣成と共に申津面に移住すべく東拓に請願し爲めに同會社平壤出張所にても許可の方針にて旣に現場の視察を遂げたる由尤も移住民として江西なれば兒童教育上の便法もあり且つ一面には鎭南浦鐵道沿線にて諸般の便宜を得るは勿論地方一般經濟界に貢獻する所ある好機を與ふべしと（平壤）

◎此炭の高いのに 勿體ない話
◇良林を各所に濫伐す◇
◇何とか防止する方法なきか◇

薪炭騰貴の結果支那人民の如き甚だ苦痛を感じつゝあるに未だ調節等あるを聞かず之れ甚だ遺憾の極みと云ふべし奉天附近に於てこそ森林なしと雖も東方に向へば廣漠たる森林依然として存し而かも此等森林の價値は甚だ廉にして支那人間は只持主の承認を得て年末少量の薪炭を同持主に給與の約束を以て年中森林を伐採し薪炭を製造しつゝあるものあり撫順を東に去る僅かに二十里强の地點馬鹿洞の如き開墾の爲め伐採したる大木の捨場に困りつゝ火を以て燒く事の出來ざる大木は谷底に投げ込み開墾しつゝあるの有樣なり相當の資金と有力なる支那人を利用せば奉天全滿洲の薪炭を調節

禁酒禁煙勵行
廳員率先して
◇範を示し奢侈を誡む◇

慶尙北道鬱陵島は從來內地人の食料及び日常品は總て釜山又は鳥取縣境港より之が供給を仰ぎ居れるが最近鬱陵島警察署より慶北警務部に達したる情報に因れば同島に於ても晚近諸物價就中米價の騰貴に因り島民は收支の均衡を失し生活難を訴へ來れるを以て之が對應策として本年三月矯風會なるものを組織し諸多の條項を嚴守すると共に節約を圖り豫め之に備ふる處ありたるが八月に至り更に米價の騰貴となり同島に於ける米の値段一石に付四十八圓を唱ふるに至り斯ては同島在住の內地人戶數三百戶中之れが購入の資力に耐ふる者は僅に百戶內外に過ぎず官廳としては須臾も差し措き難きを以て島司は去る八月十六日同島警察署所に內地人各戶より夫妻二人宛を召集し『以後は外米又は麥半分以上の混食を勵行するか又は三食の內一食丈は馬鈴薯其他の雜穀を食し米食を廢する事』の實行方を訓示し同時に新に前記矯風會の實行事項中に一項目を追加し外米及び麥は島廳に於て共同購入を爲し之れが資金は地方有志より無利息にて提供したる五百圓及び所轄慶尙北道より交附を受けたる救濟金等を以て之に充て尙場合に依り釜山鮮銀支店より二百圓以內の融通を仰ぐこと及び署在地（道洞）は十戶乃至廿戶に二名の實行委員を設け其他の地方は各部落に一名又は二名の實行委員を設け共同購入に係る外米及麥の分配を受けしめ且つ各戶を督勵して之が實行を期せしむることゝしたる由而して右施行以來今日迄購入共給せし外米及麥の數量は外米五十五袋麥二十三叺になる由島廳職員は島民を激勵する爲め本島に在職中は爾今禁煙禁酒を宣言したるに之に感化し同島居住の內地人にして爾來禁煙を實行せる者二十九名禁酒を斷行せる者卅五人に達したる由（大邱）

◎記憶を辿りて 掘當てた藥水
◇每日集まる者二三百名◇

平北大同郡在京面坂南里の鄭某は黃疸病に罹り醫藥を用ふるも全治せざるに困らず七八年前同人の父が該病に罹され同所附近畑地にある淸水を飮用して全治せしことを追想し早速地主に意を通じ附近畑地を二三尺掘り下げたるに果せるかな冷水湧出せしより之を服用せしに一週間にして全治したるより近くは全く藥水なりと稱し病める者に吹聽せしより昨今は之を聞傳へ遠くは七八里の所よりも態々同地に出掛け每日其數二三百名を降らざる盛況を呈し居れり此に就て長警駐在所にては其藥水を汲取て務部に送附し來りたれば目下水質に就て試驗中なり（平壤）

◎僅かの金で 危險極る犯罪
◇許可き支那人の無謀◇

滿鐵孟家屯一虎溝の支那人楊景案（三）は范家屯附近に住む高財と共謀し八里堡附近に於て線路を枕木に留めある大釘百本及びタイプレート十二枚を前後八回に拔取り城內三道街鍛冶居福盛爐に賣却して兩人分配したるが其後も夜に乘じ再び十里堡と孟家屯の中間線路の大釘を拔かんとせしを發見せられ附近に嚴探中なりし官守備兵等の爲め楊は逮捕せられしも共犯者高は逸に姿を晦まし目下搜索中なりと事ならが價格にすれば僅十三四圓の品物なれどこれが爲め列車の顚覆危險ある犯罪を敢てするとは其無謀なる呆れるの外なし（長春）

◎理髮賃の關係から 結髮者が殖た
面白い社會現象

平北義州山郡北鎭に於ては最近諸物價著しく暴騰せしを理由として理髮業者は約二割方理髮賃の値上を實行せしに來客漸次に減少し理髮業者をして生活難の聲を聞くに到れるより其因由に就いて當局の調查する所に據れば物價騰貴の影響を受けたる鮮人をして生活の脅迫よりの爲め何等經費を要せざる結髮に逆戾る者多き故なりと發見せりとは一寸面白き社會問題なり

初雪

平北慈城郡中江鎭地方にては去る十日朝來初雪あり寒氣加はり綿入羽織にても猶は寒しと

白山黑水

立川雲平氏は今では大連で辯護士を開業しながら風月に吟嘯し悠々自適して居る▲此の間原內閣の成立を聞いて夢の昔日の追懷に堪へず滿に太白を擧げて舊知の爲め大いに祝し▲そこで俳句を二三十作つて新大臣に萬遍なく一二句を進呈したが何れも豪快大風呂敷吟たる事は言ふ迄もない▲其の內で大塊逓相に贈つた一句は『秋晴れや千石船の初航海』と云ふのでこれが一番の傑作とあり（大連）

台所 其の日其の日

◆じやが薯豚そぼろ◆　じやが薯の皮をむき適宜の大きさに切り熱湯の中に入れて軟になるまでゆですぐに湯を捨て一寸火にかけ粉にさつとうきつぶし小丼の如きものに盛り豚そぼろをかけて出すそぼろは豚の挽肉に砂糖醤油を入れ其の中に豚の挽肉を入れてかきまぜながら煮る後だしを加へて煮立ちたる時に葛を水にてときたる其の中に入れざろりとしたる時器にかける

演藝案內

本町一丁目　電話一〇五〇　壽館　▲浪曲の名人 雷右衞門一行　當る十四日より　伊賀水月『續』東洋軒雷坊　浮名の橫櫛『續』東洋軒小雷雲　少年武士道　桃中軒雲廣　又意外『續』三升家華城　義士勢揃より討入迄　水府義公『續』雷右衞門　△連日大入御禮の爲明一日延仕候

黃金館　電話（晝間）二二六六（夜間）二二六七　◎當る十一日より番組にて特別大興行　新規作品…破天荒の撮影　妖術さ 瀧夜叉姬 將軍太郎　▲三百九十七呎▼ 男裝の美人が神出鬼沒の大活躍　大活劇 タタース 全四卷　新派悲劇 輪廻の絆 全三卷 悲劇得意の南北氏の監督に依つて撮られたる大悲劇　◎其他。實寫。滑稽。數種

櫻井町　電話八七三　大正館　當る十月十一日より第二次特別大興行　△米國ゴーモン社會劇『銘仕（?）』全三卷　◎滑稽『猫一』　◎『上松之助』大車輪　△五人悲劇『續金色夜叉』全六卷

京城本町　壽館　二日目大入　浪曲大名人　東洋軒雷右衞門一行　連日大入御禮の爲め明十五日迄日延へ仕候

有樂館　東京小林商會特約　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　當る十一日より　海水浴の美人　全二卷　會社活劇『不思議の家』　全二卷　孤島奇談『石島』五卷

八島柳堂著　古賀雄新畫　面白い お伽噺　定價五十錢　振替三〇〇京城日報社代理部發行

慢性りん病　內服藥　藥製師 淺田藥局　大阪南區櫻川四丁目

▲美味なる虫下し最良藥　定價 五錢 十錢 廿錢 五十錢

岩崎大海堂セメン菓子　美味なる ▼虫下し最良藥　子供さんとにねくわ～　商標 玕瑚膓虫菓子　本舖 大阪天王寺鳥居前角 岩崎大海堂　▲內外藥店にあり
主治効能　蛔虫諸症疳蟲蟲熱　夜泣の蟲。乳あまし　蟲腹痛み。疝熱の蟲　蟲胸惡く。勞熱の蟲　蟲せき。驚風の蟲　近來粗惡なるにせ物續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ

たんせき最新の良劑　セキドミン　たんせき感冒良劑　發明者 醫學士宮田先生 ドクトル秋津先生　弘濟藥院

古着卸　出品豐富　伊豫松山市本町七　小倉長太郎

りん病　急性慢性を問はず博士發見の新藥を配合せる淋滅を御用あれば全治速なり　藥價一圓四十錢二圓七十錢四圓　送料不要

ルーデサック特製品　A 十個五十錢　B 十個七十錢　京城黃金町　三振堂　山下文殊堂藥房

子宮病血の道と神仙湯　リウマチスに惱む人は
彼是迷ふ無く　眞に能く効く良藥神仙湯を試みよ現に百方手を盡すも効なき難症の子宮病や血の道や多年不治のヒステリーや、數年來のリウマチス神經痛の方々が神仙湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスッカリ快癒しつゝある…
本劑は 子宮 血の道 ヒステリー及 せんき リウマチス 神經痛 と 慢性胃腸に 著しく効を奏す
●こんな徵候の方に
本舖 藥種問屋 荒川長太郎　名古屋市東區

商況

東京株式特電
十二日後場先限引値
東株 一七〇、一〇〇
新東 一三五、七〇〇
郵船 一八八、七〇〇
紡績 一四二、〇〇〇
新鐘 九六、七〇〇
電燈 七五、一〇〇

東京期米特電
未着

兵庫期米特電
未着

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電
未着

下關期米特電

雜報

●株式内氣配
(日報) 東京の株式市場は講和促進說に依り明かに相場の上に現はれ來りて時局事業株の如きは恐慌を以て迎へられ物により形勢を示し居るが昨日の鐘紡以下の新株に至りては…

●綿布は混沌
(綿布) 東京に於ける先物十八圓二十錢に出來せしものあり…

割高の買
五十圓近かく
鞘二十圓以上の大
現物に對する先約物
漸く破談其他苦情漸次多く

●麥粉氣强し
先約物漸次高模様
小綿

●燐寸益々高調

●皮革類漸減
供給不足
保税倉庫
米國象
下落
四圓方相場

●正米小締まる
正米は古米の跡存薄と未だ早稻新米の手々出廻りあるのみにて且つ内地の白米注文絶ゆる外他所よりの玄米買附盛んに行はれつゝある結果賣物自然に影を隱して…

十錢方引締
更に一二三

●砂糖引締まる
氣配引締
二三十錢方
同事に賣止
會社値上
發表

●洋釘細物拂底
上の一時以
約三圓方の
昂騰
眼先持合

●鉱力板下落

下關相場
同國より輸入を特許するに至るや…

各地商況
◎木浦米況(十二日)
釜山物穀市場 十三日

仁川米豆取引所仲買人 仙買店

京城正米市場

南大門廻穀

仁川正米

大端境期

賣物薄の折柄に依然强硬
生魚市
◎京城日丸市場

仁川期米
十四日前場
(强硬)
八圓〇一錢と九
先二十
錢高に寄付
二十七錢の暴騰
十八錢と押し强硬
先二十錢よ
の成行を示して

大阪内氣配

市場雜觀

仁川米豆取引所
十二日・十二月限

白米小賣値
白米標準値

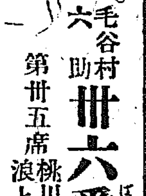
株式會社仁川米豆取引所仲買人
高田仲買店
仁川海岸町三丁目
電信略符メツ

非常に決して米の買占め
大阪の成行
暴落約三圓切

大阪後場
反撥に買氣刺戟
軟派と常勝車の硬派
主力筋
動もすれば沸騰形勢
小西某の渡鮮

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
齋藤榮之助

廿六番角力
毛谷村六助
第卅五席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記



…殿の裏向を臨んで斬下した、アワヤ眞二つと見られたる…

四平街通信

牛乳 御用
京城東四軒町
岡野牧場
電話一〇六九番

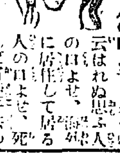
日本一
最上清酢
ほまれ味噌
マルカン印

龍 上 北 醤油
日本醬油株式會社
京城出張所
電話二五番

廣告
▲鐵鑛
▲鐵石鑛區
右多少に不拘高價買入す
平壤本町
岩田商店

ゆびきり
ゆびの一切其外切疵腫物火傷痔疾等の大妙薬は
定價五錢 拾錢 三拾錢 五拾錢
本舗 大阪東區南久寶寺町難波橋通り 中井馬鑑製
御求めの節馬の商標に御注意を乞ふ

市子▲みこ口よせの術
▲秘術傳授

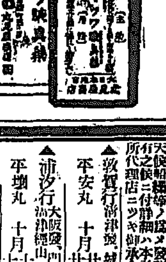


發行所 竹生英堂

僅か五分間で即座活用
金で買はれぬ樂
美人=金持=名譽
健法
五分間强
新式長身法
無料進呈
六拾五錢
格檢査券

ミツワ點眼液
眼結膜諸症に消炎鎭痛等の効ある
適應症候
トラホーム

點眼器附壜入 金拾五錢

ミツワ腋臭藥
腋臭を自癒せしむべき制臭制汗藥
適應症狀

一壜 金貳拾錢

ミツワ泥膏
火傷表皮剝脱擦過傷に適用すべき
適應症候

一盒 金十錢
發賣品目錄御申越次第發呈
ミツワ石鹸本舗 東京橋町 丸見屋商店

五光商會汽船出帆廣告
日本郵船仁川出帆
共同汽船仁川出帆
尼崎汽船仁川出帆
朝鮮郵船出帆廣告

京城日報

親善と共存
對支那の標語を新にせよ
京城日報

一

日支親善の四字は、餘り多く使ひ古るされたり。凡そ如何に正品に、如何に意味強く、且つ權威のある言語にても、日常口頭の套語と爲りはてては、次第に平凡化するを免れず。日支親善の語が、最早陳套に屬し、何等の感興をも刺戟を與ふるの力なきに至り、支那人が所謂口頭禪に過ぎざるの觀あるは、兩國の人心を繫ぎ合すに於て、決して十全なる言語とすべからず。

二

蓋し『親善』なる語の本義に立ち返り、十分の意味を與へて、之を見るも、此の語は外交上自ら一定の用例あり。假へば年々の議會に於いて、外務大臣が『帝國と訂盟各國との關係は甚だ親善にして云々』と言明するごとなるが、こは一般的に範疇するものにして、日本と支那との如き、特別關係を言ひ現はすに適應せざることは、何人も直ちに感知する所なるべし。

三

日本と英國とは親善なり、米露佛伊の列國とも親善なり、又白蘭、智利、瑞其西哥の諸國とも親善なり。然れども日本と是等諸國との國際關係は、各國各様にして、決して同一の程度に在るものにあらず。況んや支那の如き、國境相接し政治的に、經濟的に、社會的に、はた學問思想の上に於いて、全く分離すべからざるの關係に在るものを、單に親善の二字を以て、之を標示せんとするの不滿足なるいふまでなし。

四

然らば如何なる言語を以て、兩國の關係を言ひ現はすべきぞ。從來用ゐられたる脣齒輔車といふが如き譬喩的文字を避け、最も簡明直截に『共存』の二字を提出せんと欲す。共存とは共同生存の意味にして、絶對に分離すべからざるの關係を示す。

五

日本は世界に向つて支那の領土保全を宣明せり。然れども日本も亦支那の富源を利用するにあらざれば、以て經濟的獨立を全うするを得ず。是れ實に『持ちつ持たれつ』の間なり。日本は曾て支那の文明を輸入し、其の發達を助けたり。今や支那は日本文明の寄與に待つにあらざれば、其の沈滯せる風氣を一洗し、國際競爭の力を養ふべきなし。有無の相通は獨り物質界に止らず、精神界に於て特に必要なり。之を日支共存の大眼目と爲す。

六

然らば親善と共存との區別は如何、曰く日本と獨逸とは曾て親善なりき、されど今日は敵として戰ひつゝあり。日本と布哇とは曾て親善なりき、米國が布哇を併呑するに當り、日本は何等の抗議をも提出せざるのみならず、其併呑者の米國とは依然として親善なり。親善といふの言語は、此の如く通り一遍の挨拶語に過ぎざるも、共存は絶對にして變讓するを許さず。而も之に向つて危害を及ぼすものあるに當りては、一致防衛の策を取り、飽までも之に敵抗するものたるを知るを要す。

七

共存の主張の下には、攻守同盟もあるべく、關税同盟もあるべく、共同合辦事業もあるべく、百般の施設に明瞭を披瀝すべし。然れども日本は之れを以て支那に於ける利益を獨占するの意味にあらず、從來の門戸開放、機會均等等の、從來聲明せしものに對し、毫も之れを變更するの必要なきのみならず、從來ますく之れを嚴守するを要す。畢竟共存は日支兩國を結合するの連鎖なるも、之れがため他の列國の累を惹起するものにはあらざるなり。

▲訂正 昨紙本欄の末文に朝鮮米移入税が現存する樣記したるは筆者記憶の誤なり因りて之に關する文字を抹殺す

露領樺太の産業
拓殖局次長 立花俊吉氏談

過般來樺太巡視の途にありし拓殖局次長立花俊吉氏は同地の産業に就て語る

露領樺太の産業に就いて露國政府は大いに見るところあれ約十二三年前より地質調査に從事せしめ詳細なる地質圖の完成をも見てゐるのであるが時恰も歐洲戰亂に際し遂に大成を見ずして革命の内亂となり其儘今日に及んでゐるのであるが露國の有産階級にして密に資金を投じ着々之れを準捗せしめ

其地域の所有權
を獲得してゐるものもある今此の地質調査の結果に因つて見ると先づ同地の産業として最も注目すべきは鑛山である殊に西海岸に散布してゐる石炭層であつて其の炭質は優良で加之埋藏多く未だ此の採炭に着手せるは僅に二箇所位のもので此の二箇所の採炭は僅々十二三人に過ぎず其使用人夫は僅々十二三人に過ぎず甚だ微々たるものであるが此の外には採炭せるものとては無いが石炭層に就いては大いに望みを託するに足るものがある然も同地方の石炭は

露領對岸に運搬
するに容易であつて殊に冬季などには氷上運搬の便もあり又日本内地へ運搬するにも差したる難所とも思へず地位上販路の心配はないのである又東海岸には有望なる石油層のある事は世人の熟知せる處であつて中央に於いて金鑛の散布せる事も決して望みなきにあらず而も西海岸なる石炭層はアレキサンドルス港を中心として東西一里半南北二十里の間は其最も有望なるものであるが是は露國政府がアレキサンドルス港の築港問題に關し同築港を成立せしめたるものに分與するの趣旨で封鎖してはゐるが

此の地域に接したる
各所は殆ど露國有産家の所有權に屬してゐる次第である又樺太は到るところ森林地帶といつてもよろしく中央は柏楊樅などが最も多く西海岸即ち日本に接近するに從つて針葉樹の密度を見るのである殊にウサギナイ河の流域には最も有望なる森林があつて此邊には多少の製材所もあるけれども大規模のものではなく大いに我が製材業者及び製紙業者の活躍すべき充分の餘地を有してゐる漁業は日本領と同樣にて鯡、鱒、鮭等が最も多く捕れる而も東部に於ては

黒龍水道西部に於て
は國境に接近したる海岸が其最も旺んなる所である現今にても既に我が國民にて露國の漁場を借用なして專ら經營なしつゝあるものも九箇所位に及んでゐる中央地帶即ち比較的平坦なる土地には農産物の收穫も決して渺少とせず其穀類の多くは小麥燕麥等ではあるが米穀を除くの外は一般農作物も好成績を收めてゐるのである而も牧畜業は目下旺んに行はれアレキサンドルス市街の商人は一般に其商業の餘暇を以て牛豚、鷄、鳥類の飼養に努めてゐる只羊のみは多く見ざるも土地柄牧羊の業も決して望みなきにあらず斯くして見ると

露領樺太地方は
將來大いに有望なるもので我同胞としては續々發展せざるべからざる土地である、今是れを南樺太即ち日本領樺太と比較すれば多少南樺太に重きは置かるべきも爾後益々發展を期すべきは猶未だ開拓の餘地多き北部樺太である幸ひにして日本人に對する露國人の感情も悪くない現在に於て日露提携開發事業に携はらんことは甚だ望ましいことである(東京支局)

捕獲せる黒龍江艦隊上よりブラゴエチエンスクを望む (金谷從軍記者撮影)

邂逅
佐々木峯雪

二十一 袖乞ひ(七)

惣兵衞は近頃に無い上機嫌になつて、用捨崩して打ち笑んだ、『却々偉いわ、三十八錢も儲けて來居つた、偉いく、精々乃公に忠義を盡』

『はい』

『さう忠義を盡てくれては、褒美をやらざなるまいて』と云ひながら女の今し與れた單物とシャツを荘吉の前へ出した。

『はい』と荘吉は女の心の籠つた單物とシャツに目を投げた。

『今日も今日で、あんまり忠義を盡てくれるによつて、これぢやシャツの一枚も買つてやらざなるまいと思ふてな、大張込みで着いてやつたんだ、それから』と單物を取り上げて『これも序に大金懸けて買つてやつたんだ、さア着て見』

惣兵衞は上々機嫌で斯う云ふ。

容子は何も彼も知つては居るが、逆らつては切角の機嫌が壞れると思つたので、『叔父さん有難う』と嬉し氣に笑んで、好意を謝するものゝやうに幾度もく頭を下げた。

『着て見い』

『はい』荘吉は云はるゝ儘にすつぽり着物を脱いで、新しい單物と着換た。

『は……、昔から馬子にも衣裝と云ふが眞個違い無い、庄坊われにやう似合ふわ』と惣兵衞は笑ふ。

『叔父さん有難うございます』

『われが乃公に忠義するからぢやぞ、これからも精々稼いで乃公一杯忠義をせ、さうすりやちよいく着物やシャツ位は買つてやるによつてな』

『はい』惣兵衞の機嫌を損ふまいと、只はいくと素直に返詞した。

『乃公な庄坊、われの生れ代つたその姿を見て、一杯やり度うなつた、一走り賴む』と二十錢紙幣を取り出して渡した。

荘吉は德利片手に居酒屋へ驅た

『何程包んであるんか知らア……』

惣兵衞は荘吉を居酒屋へやつた後で、女が惠んだ紙包を解いた、中からは一圓紙幣が二枚ばこりと落ちた。

『や二兩……當分好い鹽梅に飲めらア』

氣味悪い程笑つた惣兵衞は、手早く自分の貰入れの中へ押し込んで食ひ散らした魚の肉を引ん剝いて食つた。

『世の中やな、見ず知らずの奴から二兩と云ふ金と、單物にシャツまで貰ふちゆうな、庄坊だつてさうだ何處の奥樣やら分らん無い者から二十錢も貰ひ、見ず知らずの旦那からつて『ぶつて』は餅を貰ふ、いやどうも世間は可笑しいもんぢやなア』

惣兵衞は獨り言のやうに斯う呟きながら荘吉の歸りを待つた、

『叔父さん買つて來ました、今日は番頭さん餘計にくれました』荘吉は叔父の前へ德利を据えた。

『御苦勞く、盡へくれ』と盃を取り上げて促した。

此の時隣の時計が四つ鳴つた。

『四時なんだ』と荘吉はつぶやいて『叔父さん僕これから仕込みに行つて來ます』

『仕込みに……』と惣兵衞は注いだ酒を一口飲んで『まア今日は休むぢやい』

『けど勿體無いから僕行つて來ます』

『さうか、御苦勞なこつた』と惣兵衞は注いでは飲み、飲んでは注いだ。

『叔父さん少しばかり仕込んで來ます』

荘吉は荷擔へして家を出た。それから一時間程經つた頃、北須町の邊を、血を吐くやうに呼び立て、居る十歳前後の哀しい八百屋があつた。

それは荘吉であつた。

『胡瓜茄子……安い茄子』

荘吉の咽喉を引つ掻くやうな哀れな聲が、夕暮間近い、路次から路次へ淋しう聞へた。

遠くに電車の軋る音が異樣に響く。

九月五日、永井鳥石自京城來、莊村山偶東道、訪余霜堂。次韻却呈 馬山 安永 春雨

詞林十載氣無神。吟友遠來情自親。青眼視吾如舊識。清風明月是斯人。

與陶曰、後半殊見意氣投合之概。

新秋 高田 小斧

園林山影射窓雨。梧葉聲聲蟋蟀鳴。病骨九蘇喜秋味。總無風處別涼生。

與陶曰、冲澹可喜。

新秋 高井 椿堂

數行早雁過山腰。又聽哀蛩四壁號。一雨新催炎熱薄。牽牛花綻。

與陶曰、結句太佳。

商業登記

株式會社支店設置

商號 株式會社朝鮮殖産銀行

本店 京城府南大門通二丁目百四拾番地ノ壹

支店 京畿道開城郡松都面北本町 [illegible]

[illegible]

取締役ノ氏名住所 京城府 [illegible]

監査役ノ氏名住所 [illegible]

存立ノ時期 設立登記ノ日ヨリ滿百年

公告ヲ爲ス方法 朝鮮總督府官報ニ掲載スル方法

各社債ノ金額 [illegible]

第五回社債 各社債ノ金額 [illegible]

[illegible]

自動車運轉手養成
東京芝浦自動車講習會
附屬東京芝浦飛行機講習會

大正八年御壽寶
大正八年農家暦
大募集 發行所 神誠館

公債と新勸業債券と交換す
京城府旭町 西村商會

投資募集
投資界の福神 (貳百萬圓事業計畫)
僅かの投資で百萬圓位の財産は誰にも出來る
廿圓の資金で貳千圓の財産が譯なく出來る
▼金なきは人生最大不幸なり▲

方法
投資要項 一口の金額 投資金總額 金貳百萬圓・募集口數 五千口
募入方法
●定款目論見書及び申込用紙は申込次第送呈す
此の期を逸せば好機再び來らず此の新事業に振つて贊同投資せられん事を切望す
東京市淺草區 帝都建築蓄産會

露西亞文豪ツルゲエネフ原作 戸川秋骨氏譯
最新刊 縮刷 獵人日記
定價 壹圓二十錢 郵税八錢
◎附錄◎鍋井克之圖案◎袖珍型布表裝美本
最善なる完譯眞乎文壇有數の貢獻
株式會社 大鐙閣

江戸の花出納式
創業明治廿貳年
新たに開業の御方又自轉車御營業の方へ
東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候
自轉車卸商 杉野商店
東京神田末廣町
C.A. "DAIMILLION" TOKYO

◇獨撤兵應諾

十二日伯林公報に曰く、獨逸政府は米國大統領ウヰルソン氏の平和提議及び撤兵を應諾す撤兵協定の爲め双方交涉委員設定を大統領に望む（東京支局至急電報）

◇獨占領地撤退準備

獨逸は墺匈國の同意を得占領地撤退準備中なり（東京支局至急電報）

◇獨聯邦君主召集

（獨逸西部の交通中心地）クルンにて發表されたる處に據れば獨帝はウヰルソン大統領の通牒に答ふる以前先づ各聯邦の君主を伯林御前會議に召集すべしと蓋し如上の會議は獨逸史上未曾有の事なり（アムステルダム電報）

◇芬蘭國王選擧

芬蘭議會は獨逸皇族フリードリツヒ、カール親王を芬蘭國王に選擧したり（因に共和黨員は當日投票せず）（ストツクホルム電報）

◇獨反對保證要求か

巴里發某所着電に依れば獨逸が其の占領地より撤兵する事を休戰談判の先決問題なりと云へるウヰルソン大統領の通牒に關しケルンワシユ、ツアイツング紙は右の場合には獨逸は聯合國の占領せる獨逸植民地の撤兵を反對保證として要求する事ある可しとの意を仄かしたるが十日のタイムス紙は獨逸の斯くの如き要求を以て許す可らざる議論なりと論述せり（東京特電）

◇葡萄牙內閣改造

マドリード發某所着電＝十月九日葡萄牙內閣改造され西班牙駐剳公使外務大臣に命ぜられたり（東京特電）

◇日米仲裁條約批准

米國上院は日米仲裁條約の五箇年延長契約を批准せりと（華盛頓電報）

◇米國製造品節約

戰時產業局は材料、勞働、燃料、運輸、資本の一般保存計畫の一部として戰爭に緊要ならざる製造品の追加節約を公表し十一月一日より向ふ六箇月間電氣暖器、石油暖爐、裁縫機械の製造は現在の五割減、尙懷中時計ケースの製造は七割減を示せり（華盛頓電報）

◇全露政府移轉

全露臨時政府は九日軍隊市民の熱誠なる歡迎を受けオムスクに移轉せり（哈爾賓電報）

◇徐總統の政策

徐總統の政策として傳へらるゝ處は（一）軍文分治を實行し專任省長無き省には人材を選み速やかに省長を置く事（二）各省長に命じ民籍を整頓し人民の困苦を救ふ事（三）各省督軍に命じ土匪を全滅せしむる事（四）大局相定まるを俟ち教育實業の整頓を計る事にありと（北京特電）

◇徐總統對時局策

徐總統は張作霖氏に對し和平は我素志なれども當分局部の處理を爲し且暫的手段は正式內閣成立を俟たざる可らず今遽に停戰命令を發する時は却て時局を紛糾するの虞ありと述べたり（北京特電）

◇尾崎男薨去

男爵尾崎三良氏は遂に十三日午後二時薨去せり十四日特旨を以て正二位を賜られたり（東京特電）

◇國分司法部長官

國分司法部長官は十三日長春に到り十四日午前哈爾賓に向へり（長春特電）

◎最近日露貿易

日露協會最近の調査に據り八月中に於ける對露貿易重要輸出入品狀況を見るに輸出通計百四十九萬一千六百七十二圓、再輸出品價九百三十八圓を示し

▲輸出全計　百四十九萬二千六百十圓、輸入通計十九萬七千三百七圓、再輸入品價十三萬二千百八十四圓を算し輸入全計三十二萬九千四百九十一圓にして之を前月に比較すれば輸出全計に於いて八十四萬二千九百七十六圓、輸入全計に於て十三萬四千八百五十一圓の孰れも減少を示せり而して更に之を前年同期間の貿易狀況に對比すれば其の累計額輸出に於て五千五百七十萬八千五百八十一圓の減少を示し本年當月迄の累計輸出額は一千三百三十三萬五千七百九十三圓を算せり又輸入に在りては前年同期間に比し四十六萬一千八百五十五圓の增加にして

▲本年當月迄の累計輸入額三百五萬七千九百六十五圓を算せり同當月中主要品に就き其の貿易狀況を見るに輸出品に在りては綿フランネルの十三萬一千餘圓を價格に於て第一位とし靴の十二萬五千餘圓錢製品の五萬九千餘圓林檎の四萬五千餘圓精糖の四萬一千餘圓羅紗及びセルヂスの二萬三千餘圓等之れに次ぎ打綿、綾木綿、生金巾及び生シーチング、天竺布其他の本邦綿織物の輸出は合計三十四萬三千圓餘を算し可なり優勢の地位を示し靴以外の革製品の十二萬七千餘圓も亦輸出品の重要なるものなり

▲輸入品に在りては豆粕の一萬四百餘圓雜品の十八萬六千餘圓等あるのみにして戰爭以來例月と差したる變動を見ず日露貿易は時局の推移に從ひ益不振の裡に越月しつつあり今對露輸出品の重要なるものを列擧すれば次の如し

▲主要移出品

品名	價格（圓）	品名	價格（圓）
玉蔥	一六、六三四	林檎	四五、八四〇
藥材化學藥及製藥	三六、〇三三	糖	四一、三六[illegible]
綾木綿	四三、一二六	フランチル	一三一、八六〇
生金巾及び生シーチング			一六、九九九
天竺布	二〇、三六一	其他の綿織物	二三〇、三〇〇
羅紗及びセルヂス	二三、四八一	毛織物	二〇、八九一
靴	一二七、七五五	其他革製品	一二七、七二一
石炭	一五三、六五四	金屬類	一七、六六[illegible]
鐵製品	五九、四五三	金屬製品	一四、八五[illegible]
其他雜品	一八六、一九九	其他數品	[illegible]

◎鐵道荷動概況

九月中の鮮鐵

九月中に於ける鐵道荷動き狀況を見るに發送噸數十八萬三千六百八十五噸收入百三十三萬六百四圓にして之を前年同期に比するに數量に於て五千六百七十一噸（三分三厘）收入七十九萬七千八百十七圓（十四割九分七厘）を增加せり今其の出荷の主なるものを擧ぐれば左の如し

▲特別輸送品（五萬二千百六十四噸）九月中に於て大繁忙を極め釜山發長春經由北滿行最も多く當月中輸送貨物全數量中の約三割を占めたり

▲石炭（二萬一千四百十六噸）前年同月に比し九千六百五十噸の大激減を示したるも這は本年撫順炭鑛業所發鎭南浦行き無煙炭に於て特別輸送の打擊を受け殆ど半減せられたるに因るものにして撫順炭は南行貨物の關係上甚だしき影響なく當局に於いても其の業界に於ける本品の供給不足は事實上に及ぼす影響甚大なるべきを考慮し特に優先の取扱ひをなしたる等こと輸送に努めたる爲め安東發に於ては前月に比し僅に三百五十噸を減退したるに過ぎざりしなり

▲米（一萬七千四百八十四噸）前月中各地に騷擾を惹起するに至りたる米價空前の暴騰も政府の施設の手段として發布したる米穀收用令に次いで公定相場を發表したるため茲に一頓挫を示し且つ指定商人の手を經て各地より多額を買收し機に應じ之が賣出しをなし市場の調節に努め一方管理外米の輸入も增大したる等に依りて稍人氣を緩和し而も本年度內地作柄は頗る良好にして收穫豫想六千萬石を算し供給不足の念は全然一掃するに至りたるを以て鮮內米況も前月末來相場は軟化したりと雖も新米及び軍需米の引受けにて市場は活氣を呈し出荷殷盛を極めたり即ち前年度に比し五千六百七十七噸の增加にして一般貨物が特別輸送の影響を受け激減したるに反し本品が如上の增加を示したるは目下必須品として當局が特に本品の優先輸送に努めたるに因るものなり

▲材木（一萬二百二十一噸）目先に結氷期を控へ鴨綠江材の流筏旺盛となり安東新義州等江岸に多量の堆積を見るに至りたるも特別輸送の影響により出荷を阻止せられ例月輸送數量の大半を占むる安東及び新義州に於て六千餘噸の出荷に過ぎず其他一般の減退により總數量に於て前年同期に比し殆んど半減せらるゝの不況を呈せり

▲雜穀（七千三百二十七噸）前月中米價の狂騰に伴ない之れが代用食料として出荷殷賑を呈したる麥及び滿洲粟も本月に入りて相場稍軟調を唱へ加ふるに特別輸送のため買付手控の氣味となり據て產地は資金潤澤のため一般賣惜みの態度を示し荷動き頓に減退せり

▲鹽（七千二百十四噸）支那鹽の輸入困難の結果再製鹽の昂騰は當然にして需要期切迫し尙ほ先高の思惑買も加はり各地より註文殺到し仁川及び群山に於る再製鹽業者は空前の繁忙を極めつゝあり又鎭南浦官鹽又同樣註文頻繁にして殆ど之に應ずる能はざるの現狀にあれば自然出荷活躍し前月に比し倍加せり

▲大豆及豆粕　大豆は（三千百九十六噸）豆粕（二千九百十九噸）は何れも品種と特別輸送の影響に依り大豆は半減豆粕は約一千噸の出荷激減せり

▲薪炭　薪炭（五百四噸）木炭（二千八百六十三噸）前月中產地買占說流布せられしより相場騰貴に比し上りとなり本月に入りて特別輸送の打擊を受けて出荷困難となり石炭と等しく優先輸送に努めたる結果前年同期に比し木炭は四百九十八噸薪炭は百四十四噸の出荷增加を示せり要するに本月中の貨物輸送は特別輸送の影響を受け米穀其他食料品及び燃料の類を除く外何れも前年度同期に比し著しき減退を示せるも一方鐵道運輸收入より見る時は總數量に於て僅に五千六百七十一噸を前年同期より增加したるに過ぎざるも總計收入に於て七十九萬七千八百十七圓即ち十四割餘を增加せり

◎昨年の金肥

生產及消費額

大正六年に於ける金肥の生產總額は千五百五十萬貫此價額約百五十四萬圓にして其の大部分は石機肥料に屬す肥料中最も產額大なるは魚肥類にして六十六萬圓に及び米糠の三十六萬圓油糟類の十八萬圓調合肥料の十萬圓骨粉類の七萬圓之に次ぐ今右の生產額を大正四年に比較すれば同產額即ち數量に於て五十萬貫價額に於て五十七萬圓の激增を示し就中米糠は糟類廿八萬圓調合肥料は十萬圓を增加せり次に

▲消費の方面を見るに大正六年の消費總額は約千百四十萬貫此價格六十六萬圓に達し油糟類の三十萬圓を最高とし米糠の二十一萬圓之に次ぎ魚肥類の五萬圓骨粉肥料の三萬圓等之れに次ぐ而して之を大正四年の消費額と對比すれば消費額に於て八百萬貫を增加し總額の增加よりも一層大なる就中消費額の大なるものは米糠にして數量に於て二百六十萬貫價額に於て十九萬圓を增加せり

▲肥料貿易の大勢を見るに大正六年の全肥料移出總額は百四十五萬圓に達し大正四年に比し僅に五十八萬圓を增加せり移出肥料の主なるものは魚肥類八十六萬圓米糠の二十八萬圓骨粉類の十萬圓等にして其仕向地は主として內地こに移して右の內米糠は朝鮮內に於ける消費額增加の爲め移出の增加少きも肥料類及び骨粉は生產高の增加に伴ない大正四年に比し著しく增加せり又全肥料移入は其額未だ多からず大正六年に於て十四萬圓にして大豆糟其大部を占めたり

◇安全なる平和は正義の上に建設さる

米國々務卿演說の要旨

國務卿ランシング氏演說の要旨に曰く向後世界的戰爭を根絕せんとせば普魯西軍國主義打破の後講和條約を締結する責任者は嚴格なる正義と公益とを其の根柢の動機とせざる可からず、講和の大綱はウヰルソン大統領により明白に宣言されたり此の大綱は講和條約協定に與る指針たるべし中歐の人民を支配しつゝある野獸が未だ橫暴を逞うする今日世界の安全なる平和は正義の上に建設されたる平和なりと主張するを以て十分なりと信ず慈悲無き嚴酷なる正義が非常に悲慘なるが如く正義を破壞する慈悲も亦其惡的なり今や總勘定の日は到來せんとする時に當り人類の爲に犯したる大罪惡の發頭人を忘る可らずされど米人は戰後中歐國の君主に仕へたる人民に對し假借無き憎惡の念を懷く可らず吾人は罪人と無辜の人民、責任者と責任無き者、主人と從者とを辨別すべきなり（華盛頓電報）

◎出超千八百萬

十月上旬の外國貿易左の如し

輸出品價	五七、八二〇、〇〇〇圓
輸入品價	三九、一三一、〇〇〇
輸出超過	一八、六八九、〇〇〇

前旬に比し輸出は三分一厘の減少、銅及び綿絲等に於て稍增加せる輸入は三分七厘の減少、鉛機械類等に於て此か增加せるも米、砂糖及び羊毛等の減額多きによる

◎砂糖益々好調

輸出金銀貨	一一、八八〇、〇〇〇
輸出超過	二二、八八〇、〇〇〇
朝鮮移出品價	四、九二五、〇〇〇
朝鮮移出超過	四、〇二一、〇〇〇
移出入金銀貨	九〇四、〇〇〇

砂糖市況は瓜哇糖の年內積止めと並に下關市場に於ける過剩原糖の製糖會社受渡問題も無事に解決せる爲め市況俄に活氣付き遂に十日限十五圓三十錢同十一月限十五圓五十錢精糖二十七圓を唱へ益々好調を辿るに至れるが目先猶商勢の模樣にて氣配強硬なりと（大阪）

◎京城地方費狀況

京畿道管內に於ける大正七年七月末現在地方費賦課金收入狀況を聞くに地稅市街地稅の附加稅、戶別稅、市場稅、屠場稅、居留稅等合計に於て調定濟額十萬一千五百三十八圓を算し之に對する收入額九萬八千八百七十二圓にして收入未濟額二千六百五十五圓此の收入步合九割七分三厘を示せり今各稅別に其收入狀況を示せば左の如し

▲地稅附加稅　百十七圓の調定額に對し六十七圓の收入あり收入未濟額四十圓にして此の收入步合六割四步九厘也

▲市街地附加稅　五千二百七十六圓の調定額に對し五千二百七十二圓の收入あり欠損額二圓收入未濟額一圓にして此…

▲戶別稅　調定濟額一萬六千四百八十二圓に對し一萬六千二百四十一圓の收入あり收入未濟額二百四十一圓にして收入步合九十八步六厘なり

▲市場稅　に於ては一萬三千五百三十二圓の調定濟額に對し一萬五千三百三十一圓の收入あり未濟額百九十一圓にして此の收入步合九十八步五厘なり

▲居場稅　調定濟額二千三百六十四圓に對する收入額一千三百五十八圓にして其の未濟額八圓なり收入步合九十九步六厘なり

▲居留稅　一萬五千七百六十三圓の調定額に對し一萬五千三百二十三圓の收入あり未濟額百二圓にして此の收入步合九十七步四厘を示せり

◎兒島長張宴　

兒島惣次郎中將は參謀本部及歩兵學校時代に親交ありたる知友中の在京者十數氏を十四日午後六時より料亭千代本に招待し懇親の宴を張る可しと

◎府郡參事諮問會

京畿道にては十五日午前九時管內京城、仁川、高陽、始興、金浦、富川、開城、漣川、抱川、加平、楊州、長湍、驪州、廣州等の各府郡參事を召集し構內會議室に於いて松永長官統裁の下に諮問會を開催し長官の訓示終りて諮問に對する各參事よりの答申ある筈

人事

▲佐藤得四郎氏（鮮銀內地課長代理人）十四日夜入京朝鮮ホテルへ

▲大久保久次郎氏（長野縣上田蠶業學校技師）同上浦尾へ

▲本田存氏（外國語學校教授）同上

▲淺輪雅信氏（三井物產由技師）同上

▲鐵山良平氏（東京石川島造船所技師）同上不知火へ

▲古屋和作氏（實業家）十四日退京

▲木田近造氏（神戶貿易商）同上

▲森健一郞氏（中村商店員）同上

鳥瞰雜組

◇今回の獨逸講和提議は何うやら輪の前途は不明だが獨逸が實際時に優ら困却に陷つて居るらしい▲其の獨逸には例の多數の娘子軍が機關銃を持つて居たのみならず飛行機中には女飛行家がつて射落した相な▲人間の死體から油を搾つた獨逸は今度は國を騙り出して戰爭に陷つて居るらしい▲獨帝が神經衰弱に陷るなどは今更やつた事だが何だか武士が首相の嗣を殺して祟られたと云ふ武士の嗣が寺山何とか云ふ武士が狂い死んだのも全てお菊が殺して神經衰弱から發狂したので中にも神經衰弱に罹つた話は多い▲近頃の劇場の周圍には種々の幽靈が出て來ると云ふから何うやらそれが鳥渡面白い▲渡米の途中で公に「日本を何う御覽ですか」と聞いたら「平和な惱ましい國」と答へたのは名答で其の極意は物價騰貴で生活難に困つて居る所が蓄音機に比べると英樂は極樂と云ふ話だ▲ケーベル博士は濠洲國人だが血は獨逸から受けて居るので同情は失張獨逸にあると答へる相だ▲博士の記憶力の強い事は實に抜群で鳥渡普通人の眞似が出來ぬ程である▲參考書類は七八年前に貿易倉庫に預けた儘未だに取り出した事はない今書いて居るものは總て記憶を頼りにして居る相だが其が又少しも誤つて居ないには驚く相な

手紙文庫

〔應用自在〕

▼どんな手紙でも頭を痛めずに即座に書ける

苦心の大著　今回完成せる美文家土肥春曙先生が半生の心血を傾倒して完成せし苦心の大著にして全卷を春、夏、秋、冬、雜の五卷に別ち各卷を更に月別とし其月々に必要なる用語、類句、文例を漏れなく集め其數實に一千二百餘種に達し悲しい手紙でも嬉しい手紙でも濃艷な手紙でも敘景の手紙でも感想文でも其他挨拶、賀、吊慰、見舞、通知、誘引、照會、依賴、謝禮、催促、招待、訪問、其事、答事、慶事、弔事、借貸、贈答文に到る迄本文庫さへあれば頭を痛めずに即座に思ふ通りに書ける此の他本文庫の無類の特色である▼本書は三六判五百頁の大冊にて定價一圓五十錢の處今回完成記念の爲め破格の割引一圓十錢にて念者は送料共一圓十八錢で送る注文は前金にて代金は後金切手代用一割增▲東京市青山南町六丁目百卅五番地　振替東京四八六六　手紙文庫刊行會　此際先著注文者五百名に机上便覽書翰文用語集一冊無代添付進呈

冬帽子全部荷揃

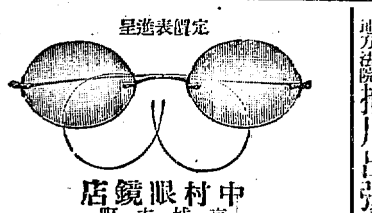
寫眞入改正定價表　御一報次第送呈

打以下一種類半ダース御註文御斷申上候

大阪市平野町四丁目　內外帽子卸問屋　淺野長商店　電話本局長二一〇　振替大阪一一一五三

法人登記

抱川金融組合登記事項追加一出資一口ノ金額ヲ金拾圓トス　右大正七年拾月拾日登記　京城地方法院抱川出張所



定價表進呈

京城本町　中村眼鏡店　電話壹壹七番・振替京城三四六番

公示催告

京城府本町二丁目五十八番地中立人釘本藤次郎

一、壹通　官設保稅倉庫寄託貨物預證券　但番號第六五二五號、水銀壹罐入五百瓦入、中立人京城府本町二丁目五十八番地釘本藤次郎第一、差出人告者京城府本町二丁目五十八番地釘本藤次郎第一作成右人被裏書人京城府本町二丁目五十八番地釘本藤次郎第一作成右人被裏書人東京株式會社長本吉純介大正五年五月八日京城稅關出張所ニ於テ同出證券ノ前記申立人ヨリ其所持ニ係ル大正八年五月九日午前九時ノ公示催告期日迄ニ當法院ニ其權利ヲ屆出テ且證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サヽルトキハ其證券ハ無効ナリト宣言スルコトアルヘシ

大正七年拾月拾日　京城地方法院

購買

朝鮮總督府遞信局

一、細曲炭灰外四點　右競爭入札ニ付スル詳細ハ十月十五日ノ本府官報ニ在リ

御禮廣告

此程賣出し中は多大の御愛顧を蒙り難有奉存候混雜の折柄自然不行屆の廉も有之候事と存候へども何卒不惡御諒察下され度不取敢紙上を以て御禮旁々御詫迄　匆々敬具

十月十五日

京城本町　ちとせや店主

堀內滿輔

物品賣却

第一號　古着服類　　四拾九點

第二號　古鐵屑類　　四點

第三號　空罐類　　八點

第四號　旅客遺失品

右當局經理課用度係ニ於テ賣却ス

一、番號ノ物品ハ本月三十日午後二時迄ニ入札ヲ受附ケ入札保證金ハ見積金高ノ拾分ノ一以上（但保證金ハ入札ト引換ニ現金ヲ以テスルコト）入札ニ付スル詳細ハ當課ニ於テ閱覽セシム

大正七年十月十日

南滿洲鐵道株式會社　京城管理局

寫眞

寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛版　精練せる技術を以て最も廉價に迅速と懇切を旨とし御需に應じ可候

京日寫眞製版部

保險金受領廣告

一金五百圓也　被保險人　吉村藏一

右者日清生命保險株式會社との保險契約中の處今回死亡候に就き前書の金額三千浦代理店龜岡一氏を經て正に受領候也

大正七年十月

慶南三千浦　吉村遺族

株式

大問題ノ解決

◇御遊金を如何に有利に運用すべきか
◇御所有の株式を利用して二重に利益を得る策
◇小額の資金にても安全確實に利益を得る株式賣買法
◇御照會になれば無料回答す

公債株式現物問屋

東京市日本橋區南茅場町四十八

朝倉商店調査部

電話浪花（二七九二、一七九二、一七九三）　振替口座東京四一九三二番　電略（〇シメ）又ハ（トウケイアサヌイ）

監督及有給社員招聘

日鮮人男女ヲ問ハズ月收五拾圓以上確實希望者は至急履歷書携帶來談又は郵送（返信料付）

京城吉野町一丁目三十八番地

日本勸業信託株式會社出張所

男女簿記係養成紹介

◎銀行會社商店工場鑛山其他寄宿通學部◎自宅獨習部▲男女生徒募集▼卒業後就職斡旋紹介◎本科四ヶ月卒業◎大阪天神橋筋西一丁目六一九　簿記會計學館

新荷到着

時屋印

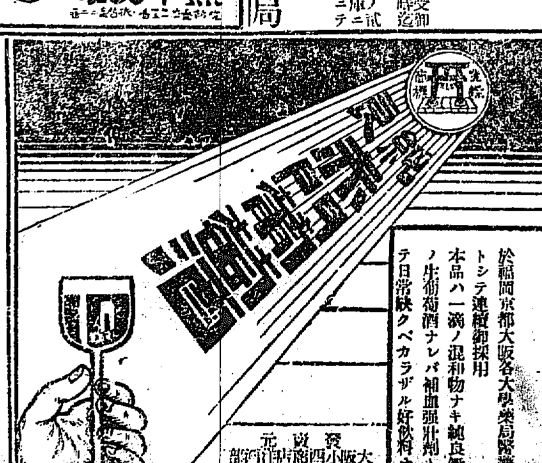
カーバイド

廉價値段を以て販賣可仕候間倍々御用命願上候

京城南大門通五丁目八番地

潤木村商會

電話長一三六四番



於福岡京都大阪各大學病院藥用トシテ連續御採用

本品ハ一滴ノ混和物ナキ純良無比ノ生葡萄酒ナレバ補血強壯剤トシテ日常缺クベカラザル好飲料ナリ

發賣元　大阪小西四郎商店　大阪ル所ニ藥店・酒店二アリ

◎蒲團綿大賣出し

▲蒲團綿　朝一、朝二、朝三、松印、竹印、梅印、天印、地印、人印、番外

▲中入綿　▲小袖綿

右大勉強仕候ニ付多少ニ不拘御用命相願候

京城府靑葉町（電話一六五番）

朝鮮製綿株式會社

◇佛米軍新線占領

◇附屬軍隊豫算決定

◎健康者歸校

[illegible]……る生徒三十五名は西脇教諭引率[illegible]滿鐵病院に入院殘り三十二名の生[illegible]

◆觀兵式豫行演習＝龍山新練兵場に於て（向つて右高島師團長）

◎壯觀言語に絶す
龍山新練兵場の觀兵式豫行演習

天高く秋氣清き十四日午後二時より龍山新練兵場に於て來るべき觀兵式の豫行演習が行はれた、未だ工事は終了せざる新練兵場を二倍せし事き

◇漢江々畔 の廣野は最も教練の地として適してゐる、この大練兵場の東から西へかけて歩兵、砲兵、騎兵が整列した光景は秋の陽に映ゆる燦爛たる劍光、四邊の山々に響き渡る勇ましき喇叭の音、さては憂々の馬蹄の響きと共に壯觀言語に絶するばかりである

折から高島師團長は副官を從へ[illegible]順次隊列に閲兵を終り場の右側に馬を止むれば七千餘の將卒は師團長の前を東から西へ二列縱隊となり勇ましい喇叭の音に歩調を揃へて威風堂々歩兵から砲兵次は騎兵といふ順序で

◇分列式を 行ひ見る者をして思はず襟を正さしめたり尚この日は豫行演習の事とて軍司令官の臨場は無かつた内鮮人群集ひ來つて山の邊に、または芝草の上に坐を占めて觀る者が數多かつた

□東宮雨中の御觀戰
天白山上御勇姿の程畏し
東宮侍從武官長 小川少將謹話

十一月一日より志ヶ原に於て一戸將軍統監の下に擧行せられたる陸軍陣地攻防大演習に臨ませられたる宮殿下の御觀戰に就て侍從武官長少將小川[illegible]氏は謹んで語る

東宮殿下には本邦未曾有なる此の度の演習を御見學の爲め三四五の三日間御臨場になつたのである而も御岡より毎日御通ひになるので朝は遲くとも五時には必ず御離床遊ばされ黎れる空のまだほの暗き六時半には御出門になるのである而して御歸館は毎夕

▽村落の燈火瞬く五時半頃であつて終日御觀戰の三日間にも聊かの御疲勞の氣色もなく御元氣實に旺盛の體に拜し奉つたのである一週間の演習も半ば終へたる五日の午後最も激烈なる戰鬪は開始されたのであるが是より前に殿下には先づ南軍の陣地に臨ませられ北軍より打出したる二十四珊榴彈砲の爆發の跡を御覽になり其樣ましくも穿たれたる大なる穴には殊に深かつたやうである此時猛雨降り頻つて殿下には雨繖ひを召させられたもの、雨巾を被らせ給はねば御帽子より滴る雨滴は御頰を傳ひて猶上衣に濺ぐにも拘らず殿下には少しも御厭いの御様子もなく天白山へ向はせられたのであるが天白山へ至る七八丁の山路はさなきだに嶮峻なるに加へて連日の降雨の爲めに泥濘と化して其の困難は筆ならぬものがあつた然し御勇武の殿下には事もなく此の嶮路を越え給ひて天白山に到着遊ばしたのである此の天白山こそ南軍陣地の第一要地であつて此處には極めて粗末なる机と床几とが殿下の爲めに設備されてゐた折しも北軍の攻撃は彌々急となつてその野砲の凄じき陣敵射撃の

▽目標は殿下の

▽御座所近かく 轟き渦巻き廻る喊聲と共に北軍の突撃は刻々肉薄しつゝ南軍陣地に押し寄せ鐵條網の防備をも忽ち突破して只管に肉迫して來たのである上空よりは飛行機隊の爆彈投下物凄く南北兩軍の砲兵は必死の猛射を續け機關銃の響きは何時歇むとも思はれず實に凄絶壯絶逆に二時間の間此の激烈なる戰鬪は繼續されたのである殿下は此の雨中に立たせられつゝ御備への床几にも掛け給はず双眼鏡を手にせられて二時間に亙る激烈なる戰況を

◆直立の儘 御覽遊ばし時々御下問を賜はり一戸統監の御說明には最も熱心に御耳を傾けられ非常なる御滿足の裡に還啓相成つたのは軍國に於ける御勇武の御姿の程感激に堪へないものがあつた（東京電話）

◎文展愈開會

文部省第十二回美術展覽會は十四日より二十日まで上野公園竹の臺に開く第一日は例年の如く招待者に限り觀覽に供し翌日から一般に開する筈（東京特電）

忠信の秘密（六）
◇藺屋殺しの情婦
悲劇の緒は解かれた

勘當、放逐、冷遇を受けた太田！
舞臺は漸く京城に廻轉せんとする
戀の勝利者丸尾源次郎

戀の陷穽へ
太田銈造は忠信が神戸の永代時代に馴染んだ

餘寒身に沁む三月の下旬から身窄らしい袷一枚の姿で、牛優しい色白の顏を惱ましく曇らせながら時々忠信の病室を訪れて居た太田銈造は、前にも記した通り神戸の或家商の若旦那であつた。そして忠信が神戸の藝妓永代時代に彼は忠信の爲めに全然戀の虜となつて了つた。戀する間は女が強者の地位に居り結婚してから男が強者の地位になると或詩人は言つて居る。增して富裕で世間見ずに育つた二十四五歳の男が、生一本な戀の熱情に騙られて、女の設けた恐ろしい戀の陷し罠に懸つて藻き苦しむのは無理からぬことである。今其の理由を說明しやう。

落籍の相談
彼女は太田から絞れる丈けの金を絞り取つた

藝妓忠信は太田よりも年上である。彼女が戀に溺れた時代は既に過ぎてゐる。彼女は最早戀を味はう時代である。彼女が其の淫蕩な性質と妖艶な姿態と曲折せる經驗とを以てすれば太田のやうな青二才は幾人手玉に取つても破綻を見せるやうなことはなかつた。彼女は太田から絞れる丈けの金を絞つた。そして一時の骨休めと云つた格で太田に落籍の相談を持ち込んだ。太田は女の爲めにすべてを犧牲にして落籍の金を調達した。斯うして兩人は親の許さぬ夫婦となつた。それは恰度檻の中の虎を放してやつて自分が第一に咽まれたやうなものだつた。果して太田の身の上には悲劇が起つた。

太田の悲劇
實家から放逐された女の愛は去つて了つた

親に背き、親戚に逆らひ、朋友を斥けて迄忠信の愛に生きんとした太田銈造はとう／＼親の勘當を受け生家から放逐されることになつた。然しそれまでは彼も自分が悲慘な戀の犧牲者とは思はなかつたであらう。寧ろ愛の勝利に醉ふて居たかも知れない。けれども金の出所を失つた彼等は今迄のやうな豪奢な逸樂に耽ることが出來なくなつた。其處で柄にもなく兩人は相場に手を出した。それは見事失敗に終つた。金は無くなつた！女の愛は去つた！

情夫とは誰
彼女が心底から惚れて居たのは誰であらう？

親からは勘當を受け、相場には失敗し、生活に窮した太田銈造は其の後の足場をもぎ取られて深い陷穽の底に突き落される時が來た。その後の足場と云ふのは忠信のことである。その忠信は所謂金の切れ目が緣の切れ目で『隨分阿呆たわ！』と他の情夫に笑つて見せたであらう。然り彼女は必ず太田に對しては其の意味で『御苦勞樣ね！』と腹の中で言つたであらう。何故と云ふに彼女は其時分心底から打ち込んで居た情夫があつたからである。その情夫と云ふのは誰であらう？噫物語りの筋の奇なることよ!!!

美男子丸尾
彼女の戀人は三ツ巴の一人丸尾源次郎だつた

すべての男を飴細工のやうに取扱う妖婦にも戀の情火は燃えてゐた。斯うした種類の女に特有な熱烈にして殘忍性を含んだ情熱は恐ろしい力を以て男を擒くのである。その熱烈な抱擁を受けた男とは誰であるか。それは都野川と同事に病室を訪れて來る美男子丸尾源次郎であつた。そして忠信の愛を受け得る資格を有つてゐたのは彼であつたのだ。舞臺は漸く京城の方に廻轉せんとする。

◎獨禍慘しい白義耳（ベルジューム）
有形上の損害だけでも
二百五十億法を下らぬ

獨逸の參謀本部は白耳義からの撤兵を決したらしいと傳へらる白耳義としては感慨無量なる能はずであらう、即ち白耳義公使館での話は斯うだ獨禍の爲に白耳義の被つた

▽有形無形 の損害は實に莫大なものである千九百十四年八月に白耳義國境へ侵入した獨逸は其の占領地域二萬八千平方米突中[illegible]方、殘りは二千平方米突中方に七百萬の住民に對して同年十一月から戰時貢納金を課した其の額は今年五月迄に實に二十億三千萬法を計上し之を悉く現金で徴收したのである此の額を一日に割ると三百萬法一時間に八萬三千法

▽一秒時間 に一千三百八十八法（約五百卅六圓強）の金を五年の間白耳義が取られて居る此の他に獨兵の忌憚に觸れて課せられた罰金科料の額を加算したら現金で取られた額でも莫大な金である更に不動産としては家屋六萬戸が破壞されて居る中には再び得られない美術品がある工場機械鐵道其の他國内に蓄積せる森林は悉く伐採された大算を合算したら二百五十億法は下るまい戰死者或は罪なくして

▽獨兵の劍 に仆れたる人々は實に數へ切れない損害で眞に無形的の損害に至つては悲慘の極みで商賈は奪はれ顧客は失ひ或は蹂躪された婦人の貞操など取返しがつかない白耳義は獨逸の撤兵に對して飽くまで自國の主張は枉げない（東京）

▽又も暴虐
白國民に對して

獨軍は又もや白耳義に於て暴虐なる徴發をなし同地方の男子十五歳より四十五歳迄を會せ海岸よりブルジーに到る地方にては一網打盡的に掠奪放火及び放逐を行ひ全く之れを荒廢せしめたり（アムステルダム電報）

◎密陽の白松

京城東拓會社々宅の庭木に珍しき白松があることは有名であるが其白松が京釜線密陽にもあることが此頃に至つて發見された其の所は密陽驛を距る約三十町斗淵隧道上の[illegible]長別莊の所在地で風景絶佳の所であるが其松樹林の中に五本の白松がある何れも二百有餘年を經た老樹で根幹に周圍四尺餘ありて非常に美觀を添へて居ると云ふ

◎斷水は當分繼續する
京城の水道

京城水道は本年四月一日より擴張工事に着手したるが以外新設の家屋に對しては新規水道の布設及び給水を爲さず一般市民は勿論新規移住者及び家屋新築者は非常なる苦痛を受けつゝありしが當局者の談に依れば當分は斷水を繼續すべく新規水道は來月中旬頃にあらざれば給水不可能なりと

◎盜難一件

京城櫻井町二丁目九十八番地黄松之助方に十三日夜家人の不在中を窺ひ賊忍び入り衣類數點價格百圓を窃取し逃走し同夜古市町十四番地藤田連吉方にても古洋服一着價格二十八圓を盜まれたり

◎警務部の遠遊

十三日の日曜日は申分なき秋晴れの日和なりしを以て郊外散策に出づる者多かりしが警務部にては[illegible]副官其他部員を合せて總勢三十七名何れも輕裝にて北漢山に登り一日を[illegible]

◎濟生院養育部の秋祭

濟生院養育部にては例年十月十七日を期し[illegible]嚴粛に奉祀せる神社の大祭を執行しつゝあるが本年も當日午前[illegible]後本社龍山泥光氏のお伽講演を聞かせ午後は院内で小運動會を催す由

◎日蓮聖人龍口法難會

旭町三丁目日蓮宗護國寺に於ては來る十六日（舊九月十二日）宗祖日蓮聖人龍の口法難會に相當するを以て同日午後七時より報恩法要を執行し同八時より[illegible]ある由尚同夜は一般參拜者に記念の牡丹餅の供養ありと

◎基督教演說會

府内にある十餘のメソヂスト教會代表信徒代表者は十五日より三日間市内貞洞二丁目メソヂスト教會に會合し[illegible]同時に此際特別傳道演說會を開き左記の通り毎日午後七時半開會

十五日『[illegible]』 [illegible]
十六日『[illegible]』 [illegible]
十七日[illegible]

運動界
▽京倶庭球大會

京城倶樂部庭球部にては十月二十日午前九時（雨天の際は十一月三日）より總督府庭球コートに於て左記方法に依り庭球大會を開催す可し▲試合 五回ゲーム源平試合（出技者の數に依り三回ゲームとする事あり）▲會費 三十錢當日持參の事▲賞品 優勝者に記念品を呈す▲申込期日 十八日[illegible]

濟生堂
胃腸病 婦人病 專門 入院隨意
治療人員 一日五十名限り……
治療時間 午前八時より午後四時限
京城本町三丁目更科横 鍼灸療院 藤井百太郎

かつけ
病にて困難の人に最新發見の良藥を通知す返信料添へ問合あれ
播州明石櫻町 中川彦十郎

京日案內
普通七十錢 一回前金[illegible]
[illegible]

年金恩給 低利長期即時立替 [illegible]
江州屋本店

店員入用 年齡拾七才以上身體[illegible]健全ニシテ市内要保證人二名
逢萊町四 三巴酒造株式會社

弟子至急入用 年齡十五六歳迄 希望者は直接御來談 保證人要す
本町一丁目 樂器舖 紋萬

印紛失 [illegible]御座候
南大門通三丁目 池久太郎

◎高等職業讓り度し 地方屈指の地にて職業用器具一式有り希望者は本社内案內係に御問合を乞ふ（姓名在社）

◎女中入用 京城南大門外 電話二二六番 齋藤商店

家庭教師 兼家事取締壹名 [illegible] 月給卅圓内外
京城南大門外 電話二二六番 齋藤商店

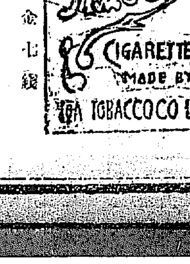
◎店員に女事務員 十五六歳より廿五六歳までの者至急入用 日本人來談又は履歷書送れ
京城旭町一丁目 洋服店 電話長二七番

砂金青金高價買入れ 出張可仕候
京城旭町一ノ七 中村分拆所

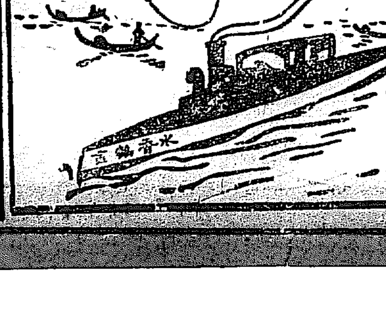
舊恩給 立替 [illegible]
博多屋本店 電話長二五〇二番

朝鮮大地圖
朝鮮總督府編纂
▲八十萬分ノ一縮圖 ▲縱四尺五寸橫二尺五寸
▲折疊定價二圓五十錢 ▲軸製定價三圓五十錢
▲折疊送料十二錢 ▲軸製送料要實費
本圖は總督府土木課の編纂に係り其正確なるは言を俟たず其最も特色とする處は道路にあり即ち輕鐵[illegible]道路を既成未成に別ちて最も詳細を極めたり又諸官廳所在地の正確なるは其特色とす
發賣元 京城大平町 振替三〇〇番 京城日報社代理部

EUKIRIN
神經衰弱特效 **ユーキリン**
本品ハ營養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱。陰萎。營養不良。結核諸症。腺病。重病回復期ニ適ス
本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士創製ノ吸收性同化性燐劑ナリ
粉末 二五瓦入 金七拾五錢　錠劑 百錠入 金八拾錢
說明書アリ進呈ス 各地有名藥店ニテ販賣ス
東京室町 三共株式會社

品質は優れて價は安く
現今最も好評を得つゝある德用品は
口付「花王」に限る


東亞煙草株式會社

冬物荷揃
營業品目
帽子 メリヤス類 靴下 手袋 膝掛 毛織物類 毛布 羽根布團 其他雜貨 織物原料
歐米雜貨直輸入卸商
合名會社 大崎組商會 雜貨部
大阪市東區安土町四丁目 電話東二二九番 振替口座大阪[illegible]
御申越次第[illegible]進呈


スワン萬年ペン
宮内省御用品の稱價は既に社會に定評あり茲に之を模倣したる類似粗惡品多く本品の特徴には SWAN の英字刻印押捺せり
到る所の文具店に有り[illegible]
[illegible] スワン大阪出張所

[illegible]◎[illegible]希望も
▲波浪洶湧 しライフ艇[illegible]後一週間の今日[illegible]

妻の心（百廿二）

十九の四　小林蹴月作　武内桂舟畫

『什うしてまあ、旦那樣は、彼れほどの堅い約束を守つては下さらないんだらうね。』

お便は、禮子が此の浅猿しい情ない有樣を見るに付けても、心から久三郎の約束違ひを怨めしく思つた。什うにかして、少時の内でも、禮子が興奮りきつた狂的動作を取鎭めたいと思ふ一心から、不圖机の上に在つた水藥の壜に氣付いた。それは、關山博士が禮子の爲めに、處法して置いて行かれた催眠劑なのである。

『もし奥樣、妾只今彼方へ參りました間、旦那樣からのお電話が御座いましたが、後一時間ばかりの内には、乾度禮子の側へ行くからそれまでは、氣を靜かに休んで居るやうにとの御傳言で御座いますで御座いますから情願、便やの申す事をお聞き遊ばし、此のお藥を少々召上がつてお横におなり遊ばして下さい。』

勿論嘘の方便で、催眠劑を服ませるべき手段として云つたのである。けれども、禮子は、そんな言を耳にも挿やうとは爲ない。自分でひ！折つた小櫛を左も不思議さうに繼ぎ合せたりして見て、悄々と考へ込んで居る氣色であつたが果ては瞼を瞬たいて潸々と泣き沈んだ。

『……旦那樣、貴郎と妾とは、丁度此の櫛のやうなんですわね。誰かゞ無理にひし折つて二つに離らかして了つたんですもの。』

今度は、母や櫻井の方へ怨みの鋒先を向け替て來たらしいのである。と、生憎とこの途端であつた母の喜久子が、女賜先でお勝の所謂小粹らしい出い男と大談判をしてゐる激怒の聲が……無論判然ではないが……劈くやうに禮子の耳へ入つた。禮子は、素より事件の何物たるかも知らう筈はないが、母の聲を耳に聞く事からが既に限りもなく嫌ひで、そして限りもなく不愉快なのである。禮子は、又もやむら／＼ッと怪出した。澁に眥を逆釣らせて、鋭くも黙と姥樹の方を睨め付けたが、同時に蹴と起ち上つて、敷居の外へ足を運び出さうと藻掻いた。けれども、奈何せん、雨脚の力が及ばぬ。『本統に口惜い……』と、云ひざま元と便やへよろめき倒びばつたりと疊の上へよろめき倒れる。

『あれッ、奥樣、何處へおいで遊ばさすんです。お厠なら妾がお枕の代りに……』

便やは、はら／＼と涙ながら抱き止めるやうにして、禮子の背を撫つた。禮子は、殆ど夢中の有樣で、便やの手を拂ひ除けたが、何の爲めかは知らず、片々の手には恰度懷劍でも持ちかまへたやうに小櫛の折れを固く／＼握りしめてゐるのであつた。が、餘りに急激に起ち上がつた身體を揉み動かした所爲か總身は、此の時俄然一命餘りの略血を作出して、加之に呼吸が今途絶ゆるかと思はるゝほど高く急に烈しく切迫して來た。そして額には霧を吹き掛たかと思ふほどの冷汗がじつとりと滲んだ。眼は一杯に睜つたなりで、手の甲と云はず脚と云はず、外部に現はれた部分は、若筋が氣味わるいほどに地圖の如くうねつた。そして全身が火のやうに熱した。

『大變ー奥樣の御容態が……』

と、お便は狂氣の如く叫んで、呼鈴の紐を千切れよと引鳴らした。眞先に駆付けたのは、二人の女中であつた。

お便は、手と口とを同時に働かせつゝ『御隠居樣にお早く……お醫者樣を直に……』と喚きつゞけた。女中の一人は、驚いて先づ御隠居に居合はした喜久子に此の事を知らせた。他の一人は、大慌てに慌てゝ、關山博士の病院へ電話を通じた。

ふ野に山に御散策の好季節となりました。貴下もまた京城近郊に秋色をお訪ねになる御一人？　なそらく貴下のみではありますまい、京城在住の皆樣まで家族御同伴朗らかな日曜の一日など野に山に御散策を欲せらるゝ人々は何れも此處、彼處、と行く可き場所に御迷ひの事と存じます、いらつしやい清涼里へ、東大門外非常に二區、若し御好みでしたら徒歩で御出でになつても十分で參ります、瀧木のポプラは早くも黄葉しました、山の秋も色深みまして山の秋も全盛です、是非一度いらつしやいませ（清涼里漢々生）[illegible]

[illegible]

新刊紹介（到著順）

△朝鮮鑛業會誌（第十號）　須らく自ら立たせよ　社說朝鮮鑛業界に對する希望（齊藤博士）或る鑛金屬の蒐來と其應用に就て（鈴木博士）電氣製鐵に就て（山田工學士）選鑛設備の勵行を期せよ（山直治）米塗旅行談四（川崎學）探鑛家の一策（石垣學士）鮮產要鐵山狀況選鑛馬來の鑛業　一千九百七年に於ける世界鑛業其他諸統計（四十錢京城府南山町二の二七朝鮮鑛業會）

△東亞評論週報（六の五）　ミラー氏[illegible]日本の新聞と民本主義（シャストリー）米大統領の平和宣言（ロビンジャー）外に北京便り、支那の人物、婦人と職業、東洋に於ける諸新聞の論調、財政と商業、米の貿易の改善其他を記述せるもの（二十錢上海ミラード、パブリシング社）

△朱唇抜抄（吉田常夏編）　婦人又は戀愛に關する警句を集めたるものにして標題より見れば卑猥なる書籍の如く思はるれども其内容は至極眞面目なる古今の金言集にて三千句を蒐めし敎訓的書籍なり（一圓東京本郷駒込林町二三七三陽堂）

△少女之友（草紅號）　附錄の「張交ぜ屏風」「短冊形」「刀の卷」は共に一枚宛切り拔いて張れば人形の屏風となる記事は清新なる少女向きの面白き讀み物多く挿畫もタップリにて可愛らしき少女雜誌なり（十五錢東京實業之日本社）

△日本全國著名人物鑑（岡部新吾右衛門著）　岡部氏が十年の長年月を以て調査したるものにして貴族院議員の四[illegible]より、華族位階所有者、帝國在郡高等官、貴衆兩院議員常備團隊、各國駐箚外交官、府縣長官、朝鮮臺灣關東州都督府職員、全國多額納税者、全國商業會議所議員、全國五十萬圓以上、四億五千萬圓迄の資産家、各國駐箚外交官、道府縣長官並に各部長判檢事典獄、全國諸會社銀行の所在地資本金其他參考となるべき事項及び商業市井一讀一覽に至るまで網羅せざるなく實に一大人名辭書にして近來の好著と云ふべし（定價金十二圓東京市小石川區水道端町二の十一帝國財界調査會本部發行）

△漢法諸難病自療篇（一枚廉價版）　漢法にてレウマチス神經痛、脚氣、中風、黴毒淋病、痔疾及び腎臟病等の醫療法を古書に求めて詳述せしものなり（八十五錢、長崎縣北高來郡諫早村原口名六五二帯原一枚庵）

◎實業講習録の大好評　商店へ入りても銀行會社に入ても小學卒業だけの學力では處世の準備と素養に乏しい爲め發行の『實業講習録』は是等の人の爲に特に必要の學科を撰むだ完全巧妙な通信教授である。全文總振假名で講義が平易親切と學科の實際的なるとを以て大好評を博してゐる。實業に志す年若き店員諸君に取りては立身の近路捷徑の手引草である。聞く處によれば目下秋季新學期開始さの事、好機を逸せず入會希望の方は同會にハガキで規則書を請求されよ無代送呈すと

◎天氣概況の讀み方

▽日氣象に關する智識▽

大候が異常を呈する時は測候所なり京城測候所なりの天氣概況を新聞によく掲載しますが氣象に關する一般の常識がなければ折角之れを見ても大候が何う變るかと云ふとが分らないで終る人もあるでせうから左に大要を記して見ませう

▽氣壓と風の關係

風は氣壓の高い方から低い方へ吹きますが地球自轉の影響を受けて其の方向が何時も右に外れるのです此作用のため低氣壓では風が時計の針と反對の向きの渦巻をなして中心に吹き込み高氣壓では反對の向きの渦巻となつて吹き出します低氣壓では高氣壓に於てよりも普通強くあります又氣壓の差が一定の距離に對して大きい程風は強くなります

▽颶風と旋風

颶風と旋風と此二つは共に低氣壓でありまして颶風は南方から起り八、九月頃本邦に襲來するもので其來が急激で被害も頗る甚大なものであります、旋風は支那大陸から日本海北海道方面に多く襲來するので冬期に多く起ります、旋風は颶風のやうに急激ではありませんが其範圍が廣く中心では左程のこともないが其後面では強風吹き北陸北海等に於て大風雪を起すものであります

▽氣壓と風と雨との程度

颶風の極強いものになると七百十粍位迄下りますが普通の颶風は七百三十粍位で夫れでも尚暴風雨を起し甚大な被害があります、風は一秒二十米突位の速さからビュー／＼と唸り出し三十米突になれば家屋や樹木の倒壞があります、雨は降つたのを流さないで地上一樣に溜たと想像して其時の水の深さで表しますが三十粍即ち一寸位の雨が可成のもので一日に百粍即ち三寸餘も降れば洪水を見るのであります

讀者の領分

△元の中島久　樣貴方が本欄にて御名前をさ[illegible]したエム子で[illegible]ツチ子として何仕所か[illegible]

[illegible]せ下さい[illegible]私は此京城都會に[illegible]少女を雇入れようと思ひます年齢十三、四位の者は居りませんでせうか但し給料の支拂ひて出來ませんから唯貧困者の家にそんな少女が居ましたら洗濯等を使ふて見度く思ひます誰か心當りの御方は本欄迄お知らせ下さい（七川生）▲[illegible]紳士に答

◎石炭危機　[illegible]

[illegible]募集規定[illegible]

仁川明米

仁川米豆取引所　[illegible]

御料　御園白粉

御園式　濃化粧法

御園白粉はノリとノビが良く手輕に美しく着ますが、極くやかな濃化粧は次の順序によるのです。

一、脂肪性のお方は化粧水御園の露、荒れ性のお方は化粧水御園四季の花を洗面後とか御風呂を召ました後に用ゐて、肌を美しく調へて置れる事。

二、濃化粧用の白粉下御園の蕾の極く少量を掌に取分けよく煉る樣にして襟足、頸から顔にかけて斑なく擦込み、柔かい紙で輕く拭ひ取らるゝ事。

三、濃化粧用の御園固煉白粉を化粧水御園の露で適宜に溶かし塗刷毛にて襟から頸にかけ顔よりも濃く塗伸し牡丹刷毛にて落ち着け乾かされる事。

四、普通の御園煉白粉を御入用の分量丈け別の白粉皿に取分け、これを塗刷毛でお顔へ次の順序で襟よりも心持薄くお塗けになるので御座います。

五、お顔の御化粧の仕方は、額へ一文字に塗、次に鼻梁にかけて兩の頬へ及ぼし頸の白粉と繼合せ目の線は生地の儘殘し後でぼかす用意をする事。

六、最後に水刷毛を輕く絞りお顔全體へ撫で伸し目の縁と兩の頬には淡紅色御園白粉をぼかしつけ、更に御園粉白粉でお化粧の補ひをするのです。

御料御園白粉本舖　伊東胡蝶園

御料御園白粉發賣元　丸見屋商店

（502）

スワン石鹸

奮ひ戰へ!!

我數萬の貔貅喊聲をあげ。

秋草咲ける西伯利亞の野に。

自由と人道の爲め戰ひつゝある如く。

我等も亦最善の努力を盡し。

絶對純潔にして而も價格低廉なる。

スワン石鹸を諸君に提供しつゝあり。

ア、奮ひ戰へ!

兵士は自由と人道の爲め!

我等は善良なる製品の

提供を爲し得る爲に!!

製造元　日本リーバーブラザース株式會社

父久兵衛病氣の處養生不相叶本日死去致候に付此段生前辱知諸君に謹告致候

追而葬式は明十五日午後三時自宅出棺元町瑞龍寺に於て相營み申候

大正七年十月十四日　京城古市町十四番地

松本豐作　大野寛次郎　大石角彌　岸達之助　土井伊右衛門　須川久彦

親戚總代　友人總代

模範牛乳　李王職御用

ニウソ　石鹸洗粉

大正塚肥醫歌　主場

京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話五二番

京城本町　大阪屋號　[illegible]

最新刊

富の道しるべ　山縣五十雄村上唯吉共著　價十五錢　郵税二錢

開かずにわかる結婚式案内　附媒介人の心得

鑛石と探鑛法　三、五〇
日蓮上人物語　高須梅溪　一、[illegible]
わが愛兒の爲め　飯塚　一、二〇
千鳥が淵　渡邊　一、三〇
文藝新語辭典　小山内　五五

化學に關する原書到著

湖沼めぐり　田中　一、二〇
解剖的滿ひ　[illegible]　一、〇〇
此鏡物　小野　二、五〇
會計の智識　興梠　一、七〇
以尺報尺　坪内逍遙　一、五〇

書名　著者　定價　送料